

キャリア発！ 未来が見える授業を創る

# キャリア教育実践の手引き

ーキャリア教育の視点を取り入れた授業の構想ー

香川県教育委員会

## はじめに

今日、進学も就職もしようとしなかったり、進路意識や目的意識が希薄なまま進学したりする若者の増加が指摘されています。このような中、児童生徒には、自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自分の意志と責任で自らの進路を選択・決定する能力や態度を育成することが重要です。中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」（平成17年10月）では、「将来の職業や生活への見通しを与えるなど、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させる教育を充実し、学ぶ意欲を高めることを重視する必要があります」と提言され、キャリア教育の推進が強く求められています。

本県では、平成16年度から文部科学省「キャリア教育推進地域指定事業」の研究委嘱を受け、推進地域である坂出地区が、小学校・中学校・高等学校を通じた組織的・系統的なキャリア教育の指導方法・指導内容の研究を行っています。また、平成17年度からは、中学校において5日間以上の職場体験を行う「キャリア・スタート・ウィーク」を2推進地域5中学校において開始し、平成18年度は6推進地域10中学校に拡大して取組を進めています。

さらに、平成18年度には「キャリア教育推進事業」を実施し、将来に夢や希望を持ち、その実現に向けて努力しようとする児童生徒を育成するため、学校と家庭・地域が連携を図り、望ましい勤労観・職業観と主体的に進路を選択する能力や態度を身に付けるキャリア教育を推進しています。

本手引きは、この「キャリア教育推進事業」の一環として、児童生徒の発達段階に応じた小学校からの組織的・系統的なキャリア教育の推進を支援するためのものです。キャリア教育というと、職場見学や職場体験等の体験活動が重視されがちですが、各教科等における日常的な活動も重要です。本手引きでは、小・中学校ごとに、「各教科」「特別活動」「道徳」「総合的な学習の時間」における実践事例をまとめ、各授業において参考にしていただけるような内容となっています。特に、職場体験がキャリア教育の中核をなしている中学校においては、その意義やねらいを十分に理解し、より日常のキャリア教育を充実させるため、職場体験に関連する内容を除いた事例を取り上げています。

キャリア教育は新しい教育分野ではありません。また、特別な活動をしなくてもいいものでもありません。今までの教科指導を生かしつつ、日常のカリキュラムを見直すことなど、これまで行ってきた教育活動を別の角度から捉え直し、新たな意味づけ、意義づけをすることで推進することが可能です。

本手引きが各学校において、全教職員の共通理解と協力の下、学校教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育を推進するために活用されることを期待しております。

平成18年12月

香川県教育委員会事務局 義務教育課

## 目 次

◆ キャリア教育の実践にあたって	1
◆ 小学校における実践事例	
事例1 にんじゃになってあそぼう！ (1年：体育科)	6
事例2 「いわのぼり」にチャレンジしよう！ (1年：学級活動)	8
事例3 せつめい名人になろう！ (1年：国語科)	10
事例4 じぶんで できるよ こんなしごと！ (2年：道徳)	14
事例5 働く喜び (3年：道徳)	18
事例6 みかんづくりはわたしの生きがい (3年：社会科)	22
事例7 自分新聞を作ろう ～こんな自分になりたいな～ (4年：国語科)	26
事例8 地域ボランティア活動に挑戦！ (3・4年：総合的な学習の時間)	30
事例9 男と女はどちらが得か？ (5年：学級活動)	34
事例10 がんばれ すごいぞ 岡田さん (6年：道徳)	40
事例11 まちの“公共”シンキング！ (6年：社会科)	44
事例12 わたしたちのお店を開こう (5・6年：総合的な学習の時間)	48
◆ 中学校における実践事例	
事例1 工芸ってなんだろう (1年：美術科)	54
事例2 製作工程表を作ろう (1年：技術・家庭科)	58
事例3 委員や係を決めよう (1年：学級活動)	62
事例4 動物のからだのはたらき (2年：理科)	64
事例5 かけがえのない命 (2年：道徳)	68
事例6 選択について考えよう (2年：総合的な学習の時間)	72
事例7 「働く」とはどういうこと？ (3年：社会科)	76
事例8 夏を制する者は・・・ (3年：学級活動)	80

# キャリア教育の実践にあたって

## 1 「キャリア教育」について

### (1) キャリア教育に関連する報告書等から

#### ① 中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」（平成11年12月）

学校と社会及び学校間の円滑な接続を図るためのキャリア教育（望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技術を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力を育てる教育）を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある。

#### ② 「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」調査研究報告（平成14年11月）

「職業観・勤労観」は、職業や勤労についての知識・理解及びそれらが人生で果たす意義や役割についての個々人の認識であり、職業・勤労に対する見方・考え方、態度等を内容とする価値観である。その意味で、職業・勤労を媒体とした人生観ともいえるべきものであって、人が職業や勤労を通してどのような生き方を選択するかの基準となり、また、その後の生活によりよく適応するための基盤となるものである。

#### ③ 「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議」報告書（平成16年1月）

「キャリア」を、個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関連付けや価値付けの累積としてとらえている。

「キャリア教育」を、「キャリア」概念に基づき「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度を育てる教育」ととらえ、端的には「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」とした。

#### ④ 中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」（平成17年10月）

学習指導要領の見直しに当たっては、将来の職業や生活への見通しを与えるなど、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させる教育を充実し、学ぶ意欲を高めることなどを重視する必要がある。

### (2) 学習指導要領から（進路及び職業に関する主な記述）

#### ① 小学校

- ・各教科等の指導に当たっては、児童が学習課題や活動を選択したり、自らの将来について考えたりする機会などを設けるなど工夫すること。（第1章総則 第5指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項）
- ・学級活動などにおいて、児童自ら現在及び将来の生き方を考えることができるよう工夫すること。（第4章総則 第3指導計画の作成と内容の取扱）

#### ② 中学校

- ・生徒が学校や学級での生活によりよく適応するとともに、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、ガイダンス機能の充実を図ること。（第1章総則 第6指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項）
- ・学校生活への適応や人間関係の形成、選択教科や進路の選択などの指導に当たっては、ガイダンス機能を充実するよう学級活動等の指導を工夫すること。（第4章総則 第3指導計画の作成と内容の取扱）

## 2 各学校における取組

キャリア教育を進めるには、児童生徒の発達段階に応じた系統性と計画性のある取組の展開が求められる。子どもたちの実態を的確に把握するとともに、子どもたち自身が自己のよさや可能性に気づき、それぞれが将来に夢や希望を持ち、その実現に向けて努力する過程を組織的・継続的に指導・援助していくことが大切である。

### (1) 学習プログラムの作成

「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度を育てる教育」を展開するためには、各発達段階において達成しておくべき課題を明確にする必要がある。

そこで、下のようなキャリア発達における4つの能力領域とそれぞれの領域に設定された8つの能力の枠組みをもとに、各学校の実情に応じて、身に付けることが期待される能力・態度を具体的に示した学習プログラム（P4参照）を作成する。

領域	領域説明	能力説明
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同しものごとに取り組む。	【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力
		【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力
意思決定能力	自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らふさわしい選択・決定を行っていく能力
		【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の実現を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力
		【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力
		【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力

＜キャリア発達における4つの能力領域とそれぞれの領域に設定された8つの能力＞

## (2) 教育課程への位置付け

キャリア教育は、関連する様々な取組が教育課程に適切に位置付けられ、系統性と計画性をもって展開されてこそそのねらいが実現される。キャリア教育が教科や領域などの教育活動全体を通じ計画的・組織的に行われることにより、学習効果が相乗的に高まっていく。そこで、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の取組と有機的に関連付けた具体的な指導計画を作成し、全体として体系的な取組が展開できるようにする必要がある。

4つの能力は、これまでも学級活動や総合的な学習の時間等において育成されてきたものであるが、さらに、それらの学習や活動をキャリア教育の視点から見直し、意図的・計画的に取り組むことが大切である。また、各教科においても、子どもたちが学んだ知識を実感を伴って理解したり、社会生活や将来の職業生活において必要であることを認識したりできるようになるなど、指導の工夫・改善を図ることも必要である。

キャリア発達や個としての自立を促す視点に立って、これまでの教育活動を見直すところからキャリア教育が始まると考えられる。

各教科	人間関係形成能力	意思決定能力	将来設計能力	情報活用能力
道徳				
特別活動				
総合的な学習の時間				

＜教育課程と4つの能力領域との関連＞

# 学習プログラム ～キャリア発達を促すために育成すべき具体的な能力・態度～

領域	小学校			中学校	高等学校
	低学年	中学年	高学年		
人間関係形成能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の考えや思いをしつかりと聞く。</li> <li>○友達と仲良く遊んだり、優しく声をかけたりする。</li> <li>○「ありがとう」や「ごめんね」を素直に言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や友達のよいところが分かる。</li> <li>○集団の中で、助け合うことの大切さが分かる。</li> <li>○自分の生活を支えてくれている人に気持ち、感謝する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の長所や短所に気付き、自分らしさを発揮する。</li> <li>○語合い活動等に進んで参加し、自分と異なる意見も認められることができる。</li> <li>○社会に貢献している人について学び、尊敬の気持ちを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の長所や自分らしさを理解して大切にするとともに、他者の個性も受け入れて尊重する。</li> <li>○自分の悩みや問題点を理解し、解決に向けて努力しようとし、友人などと相談し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。</li> <li>○他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れる。</li> </ul>
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元氣よく、あいさつや返事をする。</li> <li>○自分の考えや思いをはっきりと話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えや気持ちをわかりやすく表現したり、友達の気持ちを考えたります。</li> <li>○異学年集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。</li> <li>○友達と協力して、学習や活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりを持ち、相手の立場に立って考え、行動しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間関係の大切さを理解し、積極的に望ましい人間関係を築こうと努力する。</li> <li>○集団の中の他者の意見も尊重しながら、自分の意見を伝え、お互いに話し合う。</li> <li>○リーダーを中心として、協力して仕事をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○異年齢の人や異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。</li> <li>○リーダー・フォロア・ロールプレイングを奨励して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。</li> </ul>
意思決定能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の好きなもの、大切なものを持つことができる。</li> <li>○してよいことと悪いことがあることが分かる。</li> <li>○学校での一日の出来事を保護者に話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級の中で自分のやりたいこと、よいと思うことを選んで取り組む。</li> <li>○してよいことと悪いことがあることが分かる。</li> <li>○学校での一日の出来事を保護者に話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。</li> <li>○生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択を目指す。</li> <li>○選択するときの判断や決定の過程を大切に、結果には責任が伴うことなどを理解する。</li> <li>○教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択・決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する。</li> </ul>
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやりとぎとする。</li> <li>○自分の力で課題を解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの役割や役割分担の必要性が分かり、家の手伝いや割り当てられた仕事に取り組む。</li> <li>○日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。</li> <li>○生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択の場に生かす。</li> <li>○課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。</li> <li>○よりよい生活や学習、進路や生き方等を目標として、自ら課題を見出し主体的に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理想と現実との葛藤経験等を通して、様々な困難を克服するスキルを身につける。</li> </ul>
将来設計能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家の手伝いや割り当てられた仕事を進んで行い、役立ちの喜びを感じる。</li> <li>○作業の準備や片づけをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる。</li> <li>○将来の夢や希望を持ち、自らの学習等の計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。</li> <li>○仕事における役割の関連性や変化に気付く。</li> <li>○自らの将来の生き方を支える日常の生活や学習の大切さに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常での生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。</li> <li>○集団の中での自己の果たすべき役割を理解することができ、将来について計画を立てていく。</li> <li>○様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。</li> <li>○将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。</li> <li>○進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来について計画を立てていく。</li> <li>○将来の進路希望に基づいて目標を立て、その達成に向けて努力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生きがい、やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を理学的に考える。</li> <li>○将来設計、進路計画の見直し再検討を行い、その実現に取り組む。</li> </ul>
情報活用能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家の中や学校には、いろいろな役割や仕事があることが分かる。</li> <li>○わからないことを、自分から質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の様々な役割や仕事を理解し、分かちあうことと大切さを考える。</li> <li>○わからないことを、自分から質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な産業・職業・職業の様子やその変化が分かる。</li> <li>○適切な手段で、自分に必要な情報を探す。</li> <li>○気付いたこと、分かっていたことを適切な手段を用いて発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生き方や進路に関する情報を様々な方法で収集し、整理し活用する。</li> <li>○上級学校や職業についてその種類や特徴を把握し、そのために必要な学習や資格を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○卒業後の進路や職業・産業・職業の動向について、多面的・多角的に情報を収集・検討する。</li> <li>○職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続・方法などが分かる。</li> </ul>
職業理解能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○係活動や当番活動に進んで取り組む。</li> <li>○自ら創意工夫し、係活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○係活動や当番活動に協力的に取り組む。</li> <li>○自ら創意工夫し、係活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設・職場訪問、体験等を通して、働くことの大切さや苦労が分かる。</li> <li>○目標をもって学習や活動に取り組むことの大切さが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場体験学習やボランティア活動等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いを理解する。</li> <li>○学校での係や委員会活動、職場体験学習などの体験を他の場や活動にも生かす。</li> <li>○将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○就業等の社会参加や、上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む。</li> </ul>

※本プログラムは、「キャリア教育推進地域指定事業」（平成16～18年度）の指定地域である坂田地区において作成したものである。

# 小学校における実践事例



## 事例1 にんじゃになってあそぼう！ (1年：体育科)

マット遊びを通して、自分から進んで遊ぶ力や友達と仲良く協力しながら遊ぶ態度を育てる授業である。

1 単元名 基本の運動 ～器械・器具を使った遊び「忍者になって遊ぼう」～

### 2 単元について

基本の運動は、仲間との競争やいろいろな課題に取り組むことによって、運動したいという欲求を充足し、その楽しさや喜びを味わい、運動好きにすることができる遊び（運動）である。

本単元の学習は、忍者から一枚の果たし状が児童に届くところから始まる。そして、一人前の忍者になるためには、忍術を学ぶ修行が必要であり、跳び箱やマット、平均台、斜め板、フラフープ等の器械・器具を使って、「忍者になっているいろいろな術に挑戦しよう」と呼びかける。児童の主体的な活動を大切にしながら、「児童自らが考える」「友達と一緒に考える」など、いろいろな動きを体験させたり、創ったりさせたい。

特に、単元後半のマット遊び（転がりの術）においては、いろいろな転がり方（前転がり・後ろ転がり・横転がり等）をたくさん創ることができるようにさせたい。そのためには、マットの設置の仕方や器具等の設置を工夫し、転がり方のバリエーションを増やすとともに、二人以上の組になっての転がり方に発展できるような契機を導き出したい。

このように、マット遊びを行う中で、児童が遊びを創り出し、その過程で自分から進んで遊ぶ力や友達と仲良く協力しながら遊ぶ態度も育てていきたい。

### 3 育成したい能力・態度

#### 自他の理解能力

- ◎ いろいろな転がり方を友達と一緒に話し合ったり、互いに教え合ったりすることができる。
- 友達が考えた転がり方の説明を最後まできちんと聞くことができる。

#### コミュニケーション能力

- 自分が考えた転がり方を友達に説明することができる。

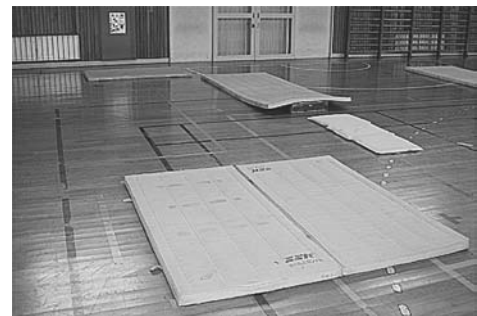
### 4 学習指導過程

前時 まで	いろいろな器械・器具（マット・跳び箱・平均台・斜め板・フラフープ等）を使って忍者遊びをする。 マット遊び : 自分で考えた転がり方をたくさん創る。 跳び箱遊び : いろいろな高さの跳び箱を上ったり、下りたりする。 平均台遊び : 平均台の上をバランスを崩さずに歩く。 斜め板遊び : 斜めの板を歩いて上ったり、下りたりする。 フラフープ・板遊び : フラフープの中を片足や両足でリズムよく跳びはねる。															
本時	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>予想される児童の意識の流れ</th> <th>教師の支援・評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 忍術練習にそなえて体をほぐす。</td> <td>忍術の修行ができるように体を動かそう。</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者遊びをするのに必要な体の部位を動かすようにする。</li> <li>・忍者からの果たし状に興味をもたせるよう提示の仕方や助言を工夫する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>2 忍者からの果たし状の内容を知る。</td> <td>忍者からの果たし状が届いたぞ。何だろう？</td> </tr> <tr> <td>3 グループごとにマット遊びをする。</td> <td>マット遊びで、転がり方を10個より多く創ってみよう。</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット遊びをする場所や遊び方について知らせる。</li> <li>・グループで転がり方が10個より多く創ることができるよう助言する。</li> <li>・グループで話し合ったり、友達の動きを見させたりするよう助言する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>4 グループごとに転がり方の発表会をする。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がりができたよ。</li> <li>・後ろ転がりができたよ。</li> <li>・横転がりができるようになったよ。</li> <li>・斜め転がりができたよ。</li> <li>・斜め後ろ転がりができたよ。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価	1 忍術練習にそなえて体をほぐす。	忍術の修行ができるように体を動かそう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者遊びをするのに必要な体の部位を動かすようにする。</li> <li>・忍者からの果たし状に興味をもたせるよう提示の仕方や助言を工夫する。</li> </ul>	2 忍者からの果たし状の内容を知る。	忍者からの果たし状が届いたぞ。何だろう？	3 グループごとにマット遊びをする。	マット遊びで、転がり方を10個より多く創ってみよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マット遊びをする場所や遊び方について知らせる。</li> <li>・グループで転がり方が10個より多く創ることができるよう助言する。</li> <li>・グループで話し合ったり、友達の動きを見させたりするよう助言する。</li> </ul>	4 グループごとに転がり方の発表会をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がりができたよ。</li> <li>・後ろ転がりができたよ。</li> <li>・横転がりができるようになったよ。</li> <li>・斜め転がりができたよ。</li> <li>・斜め後ろ転がりができたよ。</li> </ul>		
学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価														
1 忍術練習にそなえて体をほぐす。	忍術の修行ができるように体を動かそう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者遊びをするのに必要な体の部位を動かすようにする。</li> <li>・忍者からの果たし状に興味をもたせるよう提示の仕方や助言を工夫する。</li> </ul>														
2 忍者からの果たし状の内容を知る。	忍者からの果たし状が届いたぞ。何だろう？															
3 グループごとにマット遊びをする。	マット遊びで、転がり方を10個より多く創ってみよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マット遊びをする場所や遊び方について知らせる。</li> <li>・グループで転がり方が10個より多く創ることができるよう助言する。</li> <li>・グループで話し合ったり、友達の動きを見させたりするよう助言する。</li> </ul>														
4 グループごとに転がり方の発表会をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前転がりができたよ。</li> <li>・後ろ転がりができたよ。</li> <li>・横転がりができるようになったよ。</li> <li>・斜め転がりができたよ。</li> <li>・斜め後ろ転がりができたよ。</li> </ul>															

<p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>・みんなで話し合ったり、友達の転がり方をヒントにしたりして創ったよ。          ・転がっている時に、体がいろいろな向きに回った感じがしたよ。</p> <p>・みんながたくさん転がり方が創れたよ。          ・友達と一緒に仲良く活動ができたよ。</p> <p>忍者は次にどのような果たし状を出すのか楽しみだなあ。</p>	<p>・グループで創った転がり方を紹介する時に、転がっている感じがわかるように発表させる。</p> <p>⑦いろいろな転がり方をたくさん創ることができたか。</p> <p>・次時の学習意欲を高めるために、忍者からの修行内容を伝える。</p>
---------------------	--	--

## 5 実践を終えての児童の感想

- 転がり方をいっぱい考えることができた。
- みんなで後ろ回りをしたらうまくできた。
- 今までできなかった後ろ回りができるようになった。
- 転がり方をたくさんつくることができた。
- グループのみんなの前転がりができるようになった。
- 友達が転がり方を教えてくれた。
- 友達が「がんばれ」とおうえんしてくれた。



マットあそびにおける場の設定



1人での横転がり



3人での横転がり



忍者からの果たし状



1人での前転がり



5人での前転がり



8人での前転がり

## 事例2 「いわのぼり」にチャレンジしよう！ (1年：学級活動)

「いわのぼり」の活動を行う中で、互いに称賛したり体を支え合ったりすることを通して、友達のよさやがんばりを認め合い、よりよい仲間づくりを形成することができる授業である。

1 単元名 チャレンジうんどう ～こころとこころをつないで～

### 2 単元について

身体のふれ合いは、心の解放につながるものであり、友達の受容・拒否がはっきりと現れる。そこで、グループの仲間と協力や助け合いがないと達成できないような学習課題を設定することにより、友達との身体のふれ合いを通して、自分や友達とのかかわり方を見つめ直すことができる考えた。

「いわのぼり」の学習では、30cm四方の一枚の板にグループ全員(6名)が乗れることが課題であり、課題達成のためには、友達との距離(かかわり)が影響していることに気づかせたい。そのため、学習の過程において、あまり知らない友達とかかわる方法(誘い方や声のかかけ方)、友達との関係を深める方法(肯定的な言葉かけ、友達の気持ちに共感する、援助行動をとる)、対立時の適切な処理方法(感情のコントロール、自分の気持ちの伝え方)、課題達成に向けてグループ全員を参加させる方法(みんなの意見を聞く、みんなの意見をまとめる、各自の責任を果たす)など、コミュニケーション能力を育てていく。

また、この活動はグループ間の協力や助け合いがないと達成できないことから、グループ全員で達成した「成功感」を味わわせることも必要である。そうすることによって、課題達成に向けて一人一人が課題を共有し、共感することにより、互いのよさやがんばりを認め合うことができる。そして、これまでの子どもたちが思っていた協力する、助け合うことを、実感をともなって理解することを通して、よりよい仲間づくりの形成につなげていきたい。

### 3 育成したい能力・態度

#### 自他の理解能力

- ◎ グループみんなの意見や考えをきちんと聞くことができる。
- グループみんなと協力して課題達成に向けて取り組むことができる。

#### コミュニケーション能力

- ◎ 友達のがんばりを認め、元気づけたり励ましたりする言葉かけをすることができる。
- 自分の気持ちや考えを友達に伝えることができる。

### 4 学習指導過程

前 時 ま で	「今の自分」アンケート結果から、友達は学級のことをどう思っているかを知り、これからの仲間づくりや学級づくりについて話し合う。		
本 時	学習活動 1 学級の問題点を解決する方法を考える。 2 「いわのぼり」の活動をする。 (1) ルールを知る。 (2) グループに分かれて活動する。	予想される児童の意識の流れ <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分勝手な人が多いなあ。</div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">みんなで一緒にできる遊びを考えよう。</div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">グループで「いわのぼり」にチャレンジし、成功するひみつを見つけよう。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">体と体がぶつかって岩から落ちてしまうよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">自分一人だけの力では成功できないよ。</div> </div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「いわのぼり」を成功するためのひみつは何だろうか？</div> </div>	教師の支援・評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の問題点を解決するために、どのようなことを行ったらよいかを考えさせる。</li> <li>・「岩のぼり」の活動の仕方やルールについて理解できるように、図を提示して助言する。</li> <li>・グループの活動において、うまくできない場合は、みんなで話し合うようにさせる。</li> </ul>

<p>(3) 成功するためのひみつについて話し合う。</p> <p>(4) もう一度チャレンジする。</p> <p>(5) 成功したひみつを発表し、他のグループに広める。</p> <p>3 学習のまとめをする。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;">足の置き方を考えればうまくいきそう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;">体の大きな友達を真ん中にするとうまくいきそう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;">両手で友達の体を支えよううまくいきそう。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aさんは友達をしっかりと支えているなあ。</li> <li>・ Bさんは足の置き方をよく考えているなあ。</li> <li>・ Cさんは友達のことを励ましているなあ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達の体を支えたり、元気づけたり、応援したりするなど、みんなががんばれば成功するんだなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達と一緒に活動することが楽しくなったぞ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達がいっぱいできそう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うまくできない理由を出し合い、成功するためのひみつを話し合わせる。</li> <li>・ 友達のがんばりを認め、元気づけたり、励ましたりするよう助言する。</li> <li>・ 各グループを見て回り、賞賛の言葉や励ましの言葉をかけるようにする。</li> <li>⑧ 成功するためのひみつを見つける中で、友達のよさやがんばりを認めることができたか。</li> <li>・ 互いに賞賛することにより、グループへの献身や仲間への信頼感が深められるよう支援する。</li> <li>・ 本時の学習で学んだことを友達づくりに生かすことができるよう助言する。</li> </ul>
<p>次時以降</p>	<p>この学習で学んだ友達への肯定的なかかわり方を、日常生活における諸活動でも生かすよう助言することで、素直な気持ちで行動したり、友達と協力したり、助け合ったりすることが期待できる。</p>	



「足の置き方はどうしたらいいかな？」



「片足をあげて乗るとうまくいったよ」



「足を重ねて置くとうまくいったよ」



「みんなの体を両手で支え合うとうまくいったよ」

### 事例3 せつめい名人になろう！ (1年：国語科)

生活科と関連させながら、自作のじゃんけんを紹介するときに、自分より小さい相手にもよくわかってもらえるような話し方を工夫し、表現することを通して、コミュニケーション能力を養う授業である。

1 単元名 いろいろな じゃんけんについて はなしあおう

#### 2 単元について

学習指導要領との関連から、相手にわかるように話したり、大事なことを落とさないようにしながら聞き取ったりする力をつけることが大切である。ここでは、順序よく話すことや質問の仕方、わけを含めた答え方を身につけさせるため、単元の始めに、家庭学習で、外国のじゃんけんについて本で調べたり人に聞いたりする活動を取り入れることにより、学習への意欲を喚起するよう心がける。授業においては、教材文の挿し絵を見て考えたり、叙述と結びつけながら読み取ったりした後、自分たちが作ったじゃんけんについて紹介し合う活動を組む。その際、生活科「たのしかったね 1ねんかん」と関連させ、新1年生との交流会で、自分より小さい友達にも紹介することを知らせておくことで、相手意識や目的意識をもって活動できるようにしたい。

#### 3 育成したい能力・態度

##### 自他の理解能力

- ◎ 友達の考えや思いをしっかりと聞くことができる。
- 友達と仲良く遊んだり、優しく声をかけたりすることができる。

##### コミュニケーション能力

- ◎ 自分の考えや思いをはっきりと話すことができる。

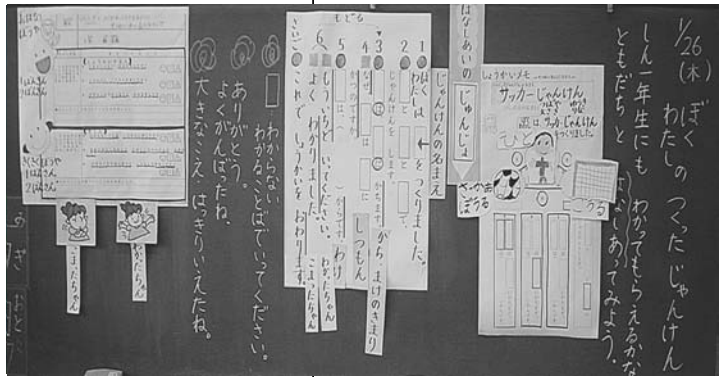
##### 情報収集・探索能力

- わからないことを自分から質問することができる。

#### 4 学習指導過程 (15時間計画 本時13/15)

前時	○ ペアで力を合わせてじゃんけんを一つ考え、その絵をペープサートにかく。		
時	○ 4人グループをつくり、一組のペアが自分たちの作ったじゃんけんを紹介する。 (残りのペアは本時で紹介する)。		
ま	○ 4人グループ内で、新1年生にもよくわかるものになっているかを話し合う。		
で			
	学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価
本時	1 本時のめあてをつかむ。	・前の時間は、○○さんたちの発表を聞いて、楽しくじゃんけんができたね。	・前時の学習を振り返ることができるように、これまでの学習内容を掲示しておく。
	2 新1年生にもよくわかる紹介の仕方を話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">しん1年生にもよくわかるはなしかたをかながえよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけんの図を見せながら順序よく話すと分かりやすいね。</li> <li>・大きい声ではっきりと話さないと、聞く人に伝わらないんだね。</li> <li>・わけを質問されたら「～からです」を使って説明するんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新1年生にもわかりやすいように説明するにはどんなところに気をつけるとよいかを考えさせる。</li> <li>・前で発表したグループの上手なところを見つけさせる。</li> <li>・話し方の順序や話型について掲示しておく。</li> </ul>

<p>3 グループ内で、自分たちのつくったじゃんけんについて話し合う。</p> <p>(1) 一組のペアがじゃんけんを紹介する。</p> <p>(2) 残りのペアが質問する。</p> <p>(3) 実際にじゃんけんをする。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">＜話す側＞</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">＜聞く側＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①わたしたちがつくったじゃんけんは○○じゃんけんです。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②●は■に勝ちます。■は▲に勝ちます。▲は●に勝ちます。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③質問はありませんか。～だからです。やってみるのを見てください。</td> <td>なぜ●は■に勝つのですか。わかりました。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ぼくたちのつくったじゃんけんを○○さんたちが楽しそうにしてくれて、うれしいな。新1年生も楽しんでくれそうだ。</p>	＜話す側＞	＜聞く側＞	①わたしたちがつくったじゃんけんは○○じゃんけんです。		②●は■に勝ちます。■は▲に勝ちます。▲は●に勝ちます。		③質問はありませんか。～だからです。やってみるのを見てください。	なぜ●は■に勝つのですか。わかりました。	<p>・話しづらそうにしている子どもには、スピーチメモを見るとよいことを助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① じゃんけんの名前 3つの名前</p> <p>② 勝ち負けのきまり</p> <p>③ 勝つ仕組み（理由）</p> </div> <p>④＜話す側＞は、大きな声で、はっきりと、順序よく、理由をつけて話せているか。</p> <p>＜聞く側＞は、わからないことを質問できているか。</p> <p>・じゃんけんの仕方について和やかに話し合いができていることを称賛する。</p>
＜話す側＞	＜聞く側＞									
①わたしたちがつくったじゃんけんは○○じゃんけんです。										
②●は■に勝ちます。■は▲に勝ちます。▲は●に勝ちます。										
③質問はありませんか。～だからです。やってみるのを見てください。	なぜ●は■に勝つのですか。わかりました。									
<p>4 自己評価カードに記入する。</p>	<p>・○○さんたちのつくったじゃんけんは、おもしろかったな。</p> <p>・他のグループのじゃんけんも、したくなかったな。</p> <p>・早く、新1年生にじゃんけんを紹介したいな。</p>	<p>・頑張ったことや気づいたことが書けるように自己評価カードを用意しておく。</p> <p>④自分を振り返り、カードに記述できているか。</p>								



## 5 指導のポイント

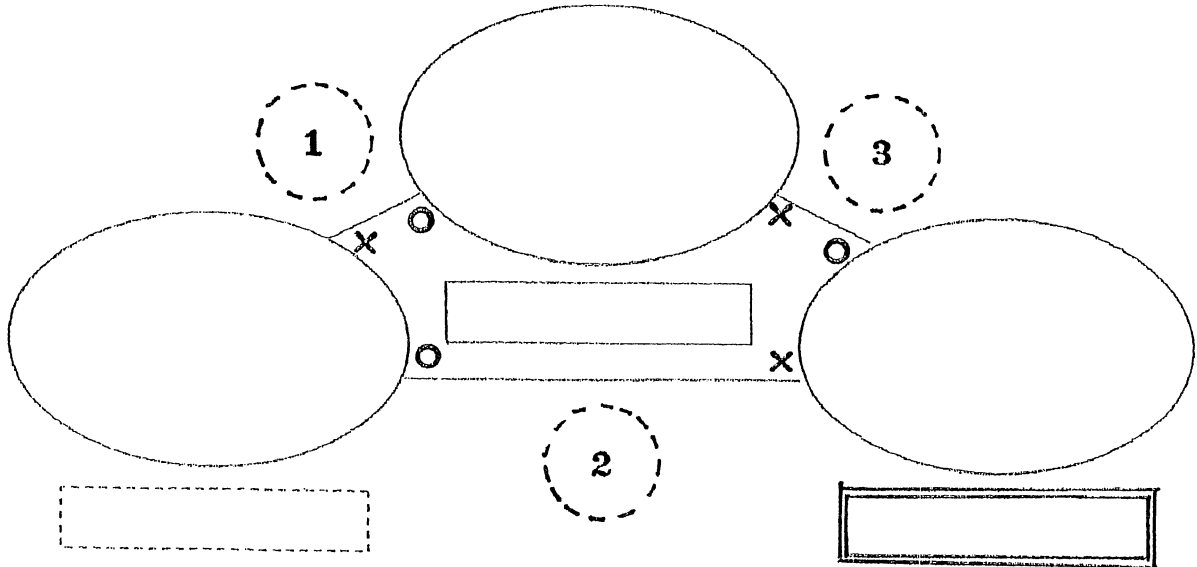
- 本時まで、教材文を読む学習を丁寧に取り扱い、授業で音読や暗唱を重視したり、ドリルの時間、家庭学習にも積極的に取り入れたりすることによって読む力をつけることが大切である。
- 家庭学習では音読の他に、世界のじゃんけん調べを取り入れ、調べたことを紹介し合う場をもたせることで、自分たちも作ってみたいという意欲を高めることができるようにする。
- 順序よく話すことについては、質問も含めた話型を用いる。教科書に載っているものの他にも、子どもが話型を考え、相手を意識した話し方ができるようにするとよい。また、話すことだけでなく、聞くことについても、自己評価カードに観点を示すことで、めあてをもって取り組むことができるようにする。
- 国語科で学んだことを生活科に転移することによって、自信をもって話したりよく聞いたりするという「生きて働く力」の育成につながっていくと考える。

# しょうかいメモ

~せつめい名人<sup>めいじん</sup>になろう~

名まえ( )

つくった じゃんけんの 名まえ



**3**

は は  
( )

にかちます。  
( )からです。

**2**

は は  
( )

にかちます。  
( )からです。

**1**

は は  
( )

にかちます。  
( )からです。

じゃんけんをします。

と

と

で

(前時・本時用の自己評価カード)

時 月日	きょう がくしゅう 今日の学習	気をつけること
/  ( )	じゃんけんを しょうかいして しん1年生にも よくわかるか はなしあおう。	<p><b>【しょうかいする人】</b></p> <p>★ じゅんじょよく はなせましたか？</p> <p style="text-align: right;">😊 😐 😞</p> <p>★ 大きなこえではっきりと はなせましたか？</p> <p style="text-align: right;">😊 😐 😞</p> <p>★ しつものに こたえられましたか？ わけを はなせましたか？</p> <p style="text-align: right;">😊 😐 😞</p>
	<p>● わかったことや気づいたことをかきましょう。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	
/  ( )	じゃんけんを しょうかいして しん1年生にも よくわかるか はなしあおう。	<p><b>【きく人】</b></p> <p>★ わからないことを しつもんしましたか？</p> <p style="text-align: right;">😊 😐 😞</p> <p>★ 大きなこえではっきりと しつもんできましたか？</p> <p style="text-align: right;">😊 😐 😞</p> <p>★ きまりがよくわかって たのしくじゃんけんが できましたか？</p> <p style="text-align: right;">😊 😐 😞</p>
	<p>● わかったことや気づいたことをかきましょう。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	



## 事例4 じぶんで できるよ こんなしごと！ （2年：道徳）

「おふろばそうじ」の資料を読み、働くことの気持ちよさや人の役に立つ喜びについて考え、進んで自分の仕事をしていこうとする態度を育てる授業である。

### 1 主題名 じぶんで できる しごと （中心資料 おふろばそうじ）

香川県小学校道徳教育研究会読み物資料

### 2 主題について

この主題でねらう中心価値は、学習指導要領1－（2）「勤勉・努力」である。児童が自立していくためには、自分がやらなければならない勉強や仕事をしっかりできることが大切である。何事にも粘り強く取り組み、努力し続けることと、向上心とが結びついて、自己の在り方や生き方が自覚されてくる。

資料「おふろばそうじ」の主人公あきは、最初は姉に頼まれて仕方なくしていたが、姉にコツを教えてもらいながら頑張ったのでしだいに上手になり、家族に喜ばれるまでになる。資料を通して、働くことの気持ちよさや家族の役に立つ喜びを知ったり、こころのノートを活用しながらこれまでの自分を振り返ったりすることにより、進んで自分の仕事をしていこうとする態度を育てていきたい。

### 3 育成したい能力・態度

#### 課題解決能力

◎ 自分のことは自分で行おうとすることができる。

#### 役割把握・認識能力

○ 家の手伝いや割り当てられた仕事を進んで行い、役立つことの喜びを感じることができる。

### 4 学習指導過程

前時 まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ こころのノート「がんばってるね！」(P18, 19)を活用する。</li> <li>○ 「がんばっているかな？ ふりかえてみよう」のカードには、新学期のめあてや毎日しなくてはならないことについて書けるようにし、課題意識をもたせておく。(学級活動)</li> </ul>		
本時	学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価
	1 自分の仕事を振り返る。	<p>新学期のめあてに向かってがんばっているかな。忘れていたこともあったな。</p> <p>係の仕事は、頑張っているのでクラスの友達が喜んでくれるよ。</p> <p>宿題で、仕方なく漢字の練習をしているな。</p>	<p>・「がんばっているかな？ ふりかえてみよう」のカードをもとに、自分を振り返る場を設定する。</p>
	2 資料を読み、学習問題をつかむ。	<p>最初はいやだったのに「まかせて」と言えるようになったのはどうしてかな。</p>	<p>・仕方なく始めた場面と「まかせておいて」と胸を張る場面を比べることにより、心の変容を押さえる。</p>

<p>3 考えたい場面を選びあきらの気持ちを考える。</p>	<p>しごとをつづけてできるひみつをあきらくんからまなぼう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あきらの気持ちを想像して書けるように、ワークシートを用意しておく。</li> </ul>
<p>(1) 選んだ場面のあきらの気持ちを吹き出しに書き、同じ場面を選んだ友達と話し合う。</p>	<p>おじいちゃんや家族が喜んでくれている。家族のために頑張るぞ。</p> <p>毎日続けると上手になったよ。教えてくれたお姉ちゃんありがとう。</p> <p>ぴかぴかになると気持ちいいよ。楽しくなってきたな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ場面を選んだ友達同士で、共通点をまとめていくよう助言する。</li> </ul>
<p>(2) 見つけたひみつを全体で話し合う。</p>	<p>働くことで人の役に立ち、喜ばれるんだ。</p> <p>毎日続けると、こつが分かってきて上手になるんだ。</p> <p>自分から進んですると、気持ちがよく、楽しくなるんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめたことを全体で交流することで、「勤勉・努力」の価値認識を深めていく。</li> </ul>
<p>4 学習したことをもとに自分を見つめ、ワークシートに書き加える。</p>	<p>友達や家族に喜んでもらえるように、もっと工夫して頑張るぞ。</p> <p>続けると上手になり、おもしろくなるんだ。これからは毎日するよ。</p> <p>勉強や仕事は自分のためにするんだ。進んですると、もっと楽しくできるようになるんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことをもとに自分を振り返ることができるワークシートを用意しておく。</li> <li>本時で学んだ「仕事を続けるひみつ」を取り入れ、実践への見通しや意欲をもって述べている児童を称賛する。</li> </ul> <p>④ 自分の仕事をしっかりしていこうという意欲を書くことができたか。</p>

## 5 指導のポイント

- 資料の内容からは、自分の仕事を、家庭での手伝いだけでなく、勉強や運動など学校生活の中の仕事と広く捉えることができる。学級活動における指導と関連させたり、この学習を振り返ることができるような掲示を工夫したりしておく、日常の中でも意識させることができる。
- 事前に学年・学級だより等で授業の内容を家庭に知らせ、家庭で仕事を任せるとともに励ましてもらえるように協力を依頼しておく、とよい。また、学校での様子を家庭に知らせたり、家庭での子どもたちの変容の把握に努め賞賛したりするなど、家庭との連携を図ることも効果的である。
- 事後は、こころのノート（P20, 21）を活用し、実践につなげたい。

## がんばっているかな？ ふりかえてみよう！

名前 ( )

☆ 新学期のめあてにむかって、がんばっていますか？

☆ まいにち やらなくては いけないことが  
たくさん あるね！

べんきょう  
かかりの しごと  
そうじの じかん  
いえの 手つだい

- ◎ がんばっていること
- △ もう少しだなと思うこと
- ▲ もっと、もっとだなと思うこと あるね！

ふりかってみましょう。

△▲になるのは、どうしてかな？

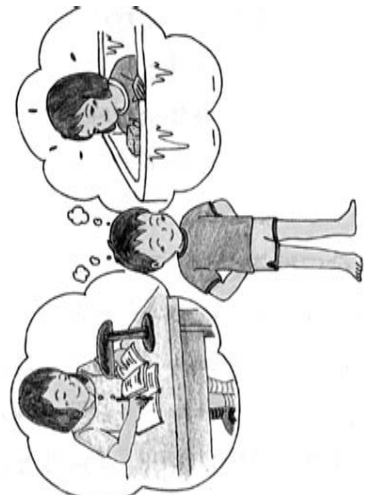
★ あむらくんの 気持ちを 考えよう。

えらんだ場面 ( )

- ① おじいちゃんや かぞくが よろこんでくれる場面
- ② お姉ちゃんに 教えてもらい 毎日 がんばる場面
- ③ 「ぼくのだいじなじこと」と むねをはって 言う場面



★ じつを つづけて できる ひみつは なに？



★ じぶんのことを ぶいかえて みよう。

## 事例5 働く喜び (3年: 道徳)

自分でできる手伝いや仕事は、自分から進んですることで、満足感や充実感を味わうことができる。自分の日常の生活を振り返りながら、進んで手伝いや仕事をしていこうとする気持ちや態度を育む授業である。

1 主題名 働く喜び (中心資料 ガラスふき) 香川県小学校道徳教育研究会読み物資料

### 2 主題について

この主題でねらう中心価値は、学習指導要領4-(2)「勤労」である。子どもたちは3年生になり、進んで物事に取り組むことの大切さややりがいを理解し始め、友達と助け合って学級や学校のいろいろな仕事に取り組めるようになってきている。また、家庭での手伝いにも進んで取り組んでいる子どもも多いと考える。

しかし、その取り組みは自分の興味があることに限られていたり、長く続かなかったりすることが多い。また、係の仕事や清掃、手伝いなどでは言われないとできなかつたり、代償を求めたりすることも見受けられる。

そこで、働くことは自分のためになるだけでなく、社会生活が一人一人の働きによって支えられていることや、働くことを通してやり遂げたときの成就感を得ることができることを学ばせたい。

中心資料の「ガラスふき」では、日曜日、何かやりたくなかった主人公が家のガラスふきを始める。初めはごほうびを期待していた主人公が、いろいろと工夫しながらガラスをきれいにふいていくうちに、ごほうびをもらおうとしたことなどすっかり忘れ、すがすがしい気持ちになっていく。仕事を終えた主人公がガラスふきを通して満足感を得る話である。

この主題でねらう中心価値は「勤労」であり、基本的な生活習慣にかかわる内容である。進んで働くことは、自分の興味本位で仕事をしたり、ごほうびなどによって働いたりすることではない。自然に何かをしたい、人の役に立ちたいという気持ちから働くことで、進んで仕事をした後の満足感や充実感を得ることができる。自分がしていることが人のためになっていることに気づかせ、進んで働く態度を育てていきたい。

### 3 育成したい能力・態度

#### 課題解決能力




- ◎ 学級や家庭での仕事や手伝いなどを振り返り、進んで取り組もうとすることができる。
- 自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやりとおそうとする気持ちをもつことができる。

#### 自他の理解能力

- ◎ 自分の仕事が人のためになっていることに気づき、進んで働く態度をもつことができる。
- 集団の中で助け合うことの大切さや楽しさ、やりがいを体感することができる。

### 4 学習指導過程

前時までに	<p>&lt;事前に取り組んでおくこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級会での係活動の見直し(学級活動) 学級の仕事や清掃活動などががんばりカードや反省カードをもとに、自分なりに振り返る場をもつ。</li> <li>○ 家庭等でのお手伝い調べ(家庭学習) 学校・家庭・地域社会での仕事や手伝いについて振り返り、自分の様子について確認させておく。</li> <li>○ 朝の会や帰りの会で、毎日の清掃や係活動を振り返る時間をとる。</li> <li>○ 地域でのボランティア活動に参加させる。(総合的な学習の時間や学校外活動等)</li> </ul>				
	学習活動	予想される児童の意識の流れ		教師の支援・評価	
	1 メモや簡単な調べをもとに、自分の生活を振り返る。	毎日、お風呂そうじをしているよ。1年生からしているよ。	そうじの時間、ちょっとさぼっているなあ。	黒板係だけ、よく忘れて、先生に言われて消すときも……。	・事前に子どもたちの記録を把握しておき、事例として適切に用いている。

<p>本時</p>	<p>2 資料「ガラスふき」を読んで、話し合う。</p> <p>(1) 主人公の気持ちが変わった理由や心について考える。</p> <p>(2) 働くことへの気持ちや態度について話し合う。</p> <p>3 自分の生活に生かせることをがんばりカードに書き、友達や家の人に伝える。</p> <p>(1) 自分の生活の中で進んで取り組んでいけることを考える。</p> <p>(2) 自分のめあてを友達や家の人に伝えて、進んで取り組もうとする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ガラスふきの話を読んで、仕事について考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>すがすがしい気持ちにどうしてなったんだろう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>家のお手伝いをしてほめられたとき、とてもうれしかったよ。今もお手伝いは続けているよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>廊下がぴかぴかになったときは、主人公と同じでやったぞと思ったよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>いつもきれいにしてくれてありがとうと言われて、これからはもうと思ったよ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お手伝いや仕事ってやりがいがあるなあ。自分でできることを考えて、進んでやってみよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>おふろのそうじを毎日したいな。家の人にも喜んでもらえるよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>そうじの終わりの時間まですみずみまできれいにするよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>学級の仕事の他にも学級のためになることを考えてみよう。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>わたしのめあては〇〇〇〇を毎日、進んで取り組むことです。がんばるぞ！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公の心の変容が分かりやすいように板書を場面ごとにまとめていく。</li> <li>メモや簡単な調べを読み直させたり、日常の様子を事例としてあげたりすることでじっくり自分の生活と重ねさせる。</li> </ul> <p>④ 主人公がガラスふきで得た満足感を自分の生活と重ねて考え、仕事のやりがいについて感じ取ることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定するめあてが長続きするかどうかを友達と相談する場を設ける。</li> </ul> <p>④ 進んで仕事の計画を立て、前向きに取り組もうと発表したり、書いたりできたか。</p>
<p>次時以降</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者に道德の時間に話し合ったことを伝え、がんばりカードに進んで取り組んでいることを称賛してもらおう。</li> <li>○ 朝の会や帰りの会を利用して、毎日の仕事の様子を確認し、認めていくことで継続していくことの大切さを体感させる。</li> <li>○ 総合的な学習の時間や学級会活動などでも随時取り上げていくことで、意識の継続を図る。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">家庭でのお手伝い発表会の様子</p>		

# じぶんのお手つだい・しごとをふりかえろう

3年 組 名 前

○ 家でしているお手つだいは何ですか。

○ お手つだいは毎日していますか。どのようにしていますか。  
お手つだいのようすを書きましょう。

おうちの人から

○ 学級のかかりのしごとはなにですか。

○ 学級のしごとのようすを書きましょう。

# じぶんのお手つだい・しごとをふりかえろう

3年 組 名 前

「ガラスふき」を読んで

- すがすがしい気持ちになったのはなぜでしょう

---

---

- 「ガラスふき」を読んでかんじたことを書きましょう

---

---

---

- お手つだいや学級のかかりのしごとをみなおそう

---

---

- わたしのめあて

---

---

---

おうちの人から



## 事例6 みかんづくりはわたしの生きがい (3年:社会科)

みかんづくりの仕事の工夫を調べたり、みかん農家の人々の苦労やみかんづくりにかける思いを聞いたりする活動を通して、働く人の生きがいに触れ、働くことのすばらしさを感じることができる授業である。

### 1 単元名 人々の仕事と農家のしごと

### 2 単元について

3年生は、まち探検を通して、田や畑で作物を作る人、海で魚を捕る人、工場でものをつくる人、店で品物をおく人など、様々な働く人と出会う。その中から、一つの仕事をし選択し調べることを通して、地域では生産に関する仕事をしている人がいて、その人の工夫や努力によって、わたしたちの生活が支えられていることを理解させたい。

みかん農家の人々の工夫や努力、気持ちを具体的に調べることで、ものを生産する仕事についての理解を深めるだけでなく、職業としてのものづくりにかける人の思いにも気づくことができる。そして、その仕事のすばらしさについて感動することは、子どもたちの職業観を形成することにつながるし考える。

地域の特性に応じて、工場の仕事や商店街のまち興しの工夫等を教材として取り上げ、その職業について子どもたちが夢がもてるような学習展開を工夫することは、キャリアの基礎を形成する上で価値があるし考える。

### 3 育成したい能力・態度

#### 職業理解能力

◎ ものを生産することの大切さや苦労、願いがわかり、働くことのすばらしさを感じることができる。

#### 情報収集・探索能力

- 観察や聞き取りを通して、みかん農家の人々の仕事の様子、工夫や努力についての情報を集めることができる。
- 集めた情報を整理したり、加工したりしてわかりやすくまとめ、友達と交流することができる。

### 4 学習指導過程

前時 まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高松市のみかんづくりについて調べる計画を立てる。</li> <li>○ みかんづくりのさかんな場所について調べる。</li> <li>○ みかん畑の仕組みを調べ、山の斜面でつくる農家の工夫や努力を知る。</li> <li>○ みかん農家の1年間の仕事の工夫や努力を調べる。</li> <li>○ みかんを育てるための1年間の作業を「みかんごよみ」から見つけ、グループで分担し、一人一人が絵カードにまとめる。</li> </ul>		
本時	学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価
	1 みかんを育てるときの工夫や努力を調べ、絵カードに付け加える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">みかん農家の人たちの工夫や努力について調べよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">資料をもとに、それぞれの作業の意味を絵カードにまとめよう。</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>消毒</b>                      木を病気や害虫の被害から守る。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>てきか</b>                      大きさのそろったよい実が付くようになりすぎた実をつむ。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>マルチしき</b>                      土に余分な水が入ると、味が落ちるので、地面にシートをかぶせる。                 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードに必要な工夫や努力を付け加えることを確認する。</li> <li>・わからないことはゲストティーチャーに質問してもよいことを助言する。</li> </ul>

<p>2 それぞれの作業の内容ををグループ内で発表し合う。</p> <p>(1) カード操作をして仲間分けをする。</p> <p>(2) 関係図をつくる。</p> <p>3 関係図からわかったみかん農家の人の工夫や努力を発表する。</p> <p>4 みかん農家の人の仕事に対する思いを聞く。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">肥料やり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">よい木が育つようにする。</div> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">枝切り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どの葉にも日光がよく当たるように余分な枝を切る。</div> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">高うねづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">みかんの木が余分な水を吸わないように土を高く盛り上げる。</div> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">グループでそれぞれの仕事の関係図をつくり，工夫や努力を見つけよう。</div> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">元気にみかんの木が成長するための工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">消毒</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">肥料</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; margin-top: 10px;">枝きり</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よいみかんが育つための工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">美味しいみかんをつくる工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">マルチ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">高うね</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よく似た大きさのみかんをつくる工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;">滴下</div> </div> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしいみかんがたくさん育つように，1年間通して仕事を進めているんだな。</li> <li>・それぞれの時期にあった作業を行っているんだな。</li> </ul> </div> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年間計画的にいろいろな仕事をしていて大変だけれど，おいしいみかんが育ってくるととてもうれしい。みかんづくりの仕事に誇りを持って取り組んでいるんだ。</p> </div> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おいしいみかんが食べられるのは，みかん農家の人々の工夫や努力のおかげなんだ。ものをつくることはとてもすばらしいことだなあ。ぼくも仕事に対して，熱意をもって取り組みたいなあ。</p> </div> </td> </tr> </table>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">肥料やり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">よい木が育つようにする。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">枝切り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どの葉にも日光がよく当たるように余分な枝を切る。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">高うねづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">みかんの木が余分な水を吸わないように土を高く盛り上げる。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">グループでそれぞれの仕事の関係図をつくり，工夫や努力を見つけよう。</div>			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">元気にみかんの木が成長するための工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">消毒</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">肥料</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; margin-top: 10px;">枝きり</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よいみかんが育つための工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">美味しいみかんをつくる工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">マルチ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">高うね</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よく似た大きさのみかんをつくる工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;">滴下</div> </div> </td> </tr> </table>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">元気にみかんの木が成長するための工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">消毒</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">肥料</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; margin-top: 10px;">枝きり</td> </tr> </table>	消毒	肥料	枝きり		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よいみかんが育つための工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">美味しいみかんをつくる工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">マルチ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">高うね</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よく似た大きさのみかんをつくる工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;">滴下</div> </div>	マルチ	高うね	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしいみかんがたくさん育つように，1年間通して仕事を進めているんだな。</li> <li>・それぞれの時期にあった作業を行っているんだな。</li> </ul> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年間計画的にいろいろな仕事をしていて大変だけれど，おいしいみかんが育ってくるととてもうれしい。みかんづくりの仕事に誇りを持って取り組んでいるんだ。</p> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おいしいみかんが食べられるのは，みかん農家の人々の工夫や努力のおかげなんだ。ものをつくることはとてもすばらしいことだなあ。ぼくも仕事に対して，熱意をもって取り組みたいなあ。</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取りが不十分な児童に対しては，大切な言葉を見つけてアンダーラインを引くよう助言する。</li> <li>・作業を仲間分けしてそれぞれに題をつけることで，作業の工夫や努力をまとめることができるようにする。</li> <li>④ 友達の発表を聞いて質問したり，共通点を見つけたりすることができたか。</li> <li>・予め話す内容を打ち合わせておく。</li> <li>④ みかんづくりの工夫や仕事に対する願いを書けたか。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">肥料やり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">よい木が育つようにする。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">枝切り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どの葉にも日光がよく当たるように余分な枝を切る。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">高うねづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">みかんの木が余分な水を吸わないように土を高く盛り上げる。</div>																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">グループでそれぞれの仕事の関係図をつくり，工夫や努力を見つけよう。</div>																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">元気にみかんの木が成長するための工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">消毒</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">肥料</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; margin-top: 10px;">枝きり</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よいみかんが育つための工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">美味しいみかんをつくる工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">マルチ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">高うね</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よく似た大きさのみかんをつくる工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;">滴下</div> </div> </td> </tr> </table>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">元気にみかんの木が成長するための工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">消毒</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">肥料</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; margin-top: 10px;">枝きり</td> </tr> </table>	消毒	肥料	枝きり		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よいみかんが育つための工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">美味しいみかんをつくる工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">マルチ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">高うね</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よく似た大きさのみかんをつくる工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;">滴下</div> </div>	マルチ	高うね																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">元気にみかんの木が成長するための工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">消毒</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">肥料</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; margin-top: 10px;">枝きり</td> </tr> </table>	消毒	肥料	枝きり		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よいみかんが育つための工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">美味しいみかんをつくる工夫</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">マルチ</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">高うね</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よく似た大きさのみかんをつくる工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;">滴下</div> </div>	マルチ	高うね																					
消毒	肥料																											
枝きり																												
マルチ	高うね																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしいみかんがたくさん育つように，1年間通して仕事を進めているんだな。</li> <li>・それぞれの時期にあった作業を行っているんだな。</li> </ul> </div>																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1年間計画的にいろいろな仕事をしていて大変だけれど，おいしいみかんが育ってくるととてもうれしい。みかんづくりの仕事に誇りを持って取り組んでいるんだ。</p> </div>																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おいしいみかんが食べられるのは，みかん農家の人々の工夫や努力のおかげなんだ。ものをつくることはとてもすばらしいことだなあ。ぼくも仕事に対して，熱意をもって取り組みたいなあ。</p> </div>																												
<p>次時以降</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 収穫されたみかんを売る工夫調べ          収穫されたみかんがどこへどのようにして運ばれるかを調べることで，選果場や農協の人々の存在に気づかせるとともに，みかんづくりには多くの人々が関わっており，様々な工夫や努力をしていることに気づかせる。</li> <li>○ 高松市のみかんのPRポスターづくり          農家の人々の仕事が，わたしたちの暮らしを支えてくれていることをポスターで発信させる。</li> </ul>																											

## 5 発展的な取り組み

本実践では、農家の人の願いや思いを取り上げることで職業観を育て、キャリア教育の基礎を養うことをねらいとしたが、地域によっては、農業があまり盛んではなく取り上げられない場合がある。そこで、地域の特性に応じて、様々な形で働く人の姿に触れさせたい。

### (1) 商店や商店街の仕事を取り上げる場合

ここでは、スーパーマーケット等の販売の様子を調べることを通して、販売業そのものの仕組みやそこで働く人の工夫や努力を理解するにとどまらず、ものを売る人の願いや消費者のニーズに合わせた働く人の思いにも触れさせる。

例えば、振興組合を中心として、駐車場の充実や福引き等のサービスや大売り出しの開催等、商店街全体として共同でイベントを開催することによって、消費者の多様なニーズに応じることができ、ひいては、その地域の町おこしにつながっていることに気づかせることもできる。

また、自分たちの地域の発展を願って一生懸命に働く人々とインタビューや授業参加による交流を通して、子どもたちに3年生なりの職業意識やその職業への憧れが芽生えるであろう。それが勤労観・職業観の基礎を培うきっかけになると考えられる。

### (2) 工場の仕事を取り上げる場合

ここでは、様々な工場の物づくりの様子を調べることを通して、製造そのものの仕組みやそこで働く人の工夫や努力を理解するにとどまらず、働く人のものづくりにかける願いや思いにも触れさせる。

その際、工場見学やゲストティーチャーとして授業に参加してもらうことで、疑問点や苦労していること、努力していることなどを直接聞くことができ、子どもたちは自分たちの生活とものづくり、職業生活との関係に気づくことができる。



パン工場の見学

### (3) 公共のための仕事を取り上げる場合

ここでは、市役所や町役場、警察や消防署、郵便局、公民館など、公共のために働く人々を取り上げ、働く人の様子や願いについて考えさせる。例えば、消防署で働く人たちは、火事から人々の生命や財産を守るために様々な活動に取り組んでいる。中でも児童は、火災などの緊急時の消火活動に興味をもつであろう。ひとたび火事が起きると、消防士は関係諸機関と連絡を取り合っ現場に急行し、素早く消火活動を行う。

しかし、消防署の仕事を支えているのは、緊急時以外の日常の地道な活動である。つまり、消火活動や救助活動のための訓練や施設や道具の点検、さらには、各学校を回っての避難訓練の指導等の啓発活動等である。

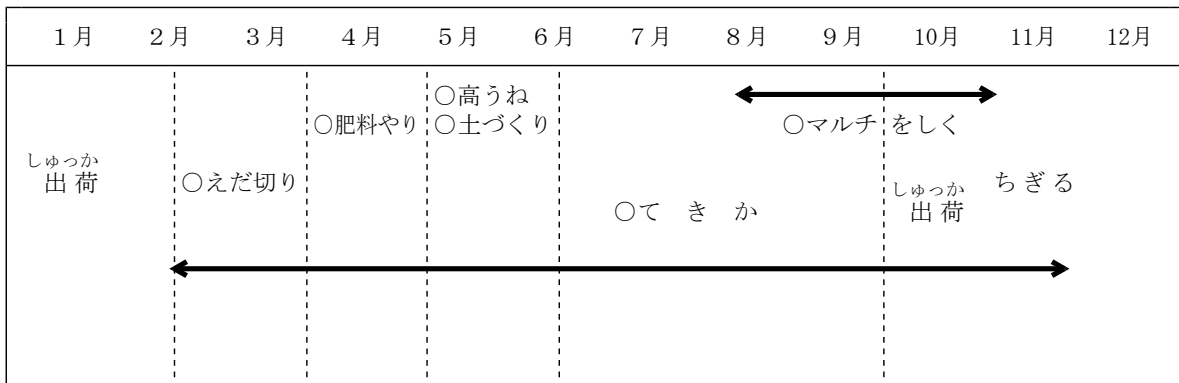
このように、自分たちのくらしの安全を守ってくれる人々の仕事の様子や願いを実際の見学を通して観察したり、インタビューしたりして調べることで、子どもたちは、自分たちのくらしと公共のために働く人の関係に気づくことができる。



消防署の見学

6 資料

(1) みかん農家の1年間の仕事の流れ



(2) みかん農家の見学ワークシート例

年 月 日 ( )

年 組 名前

○ 働く人の様子やみかん畑の様子を絵にかこう。

○ 考え

## 事例7 自分新聞を作ろう ～こんな自分になりたいな～ (4年：国語科)

日記や学習の表現物などを見直したり、家族や友達に自分についてのインタビューをしたりするなど、学校や家庭での生活の中から自分新聞の素材を探る活動を通して、自分のよさや成長に気づき、自分の将来を見つめる素地をつくることができる授業である。

1 単元名 自分新聞を作ろう ～こんな自分になりたいな～

### 2 単元について

本単元は、自分が伝えたいことを明確にして、5W1H等の大事な要素を落とさずに新聞記事を書くことを通して、日常の出来事や体験、学習が自分の将来の生き方と大きく関係していることに気づかせるねらいから設定したものである。

学校生活の中から、先生や友達、係や当番活動、校外学習やクラブ活動等、あるいは、家庭での生活の中から、家族、休日、家の仕事や手伝い等の素材を見つけ、子どもたちが自分のよさや特性に気づき、これからの夢を自分新聞で伝えることで、自分の将来を見つめることができると考える。

### 3 育成したい態度・能力

#### 役割把握・認識能力

- ◎ 日常生活や学習の中から伝えたいことを見つけて記事を書くことを通して、自分のよさや成長に気づくことができる。
- 日常生活や学習の中の出来事を振り返ることを通して、将来の自分の姿や夢を描くことができる。


#### コミュニケーション能力

- 家族や友達に自分についてインタビューをすることを通して、お互いのよさや成長を伝え合うことができる。

### 4 学習指導過程 (本時2 / 4)

前時 まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に教材について家庭にも知らせておき、家族を中心に取材活動をして、心に残ったことを記録しておく。</li> <li>○ 過去の日記や表現物から心に残ったことや成長に気づいたことを記録しておく。</li> </ul>				
本時	学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価		
	1 めあてをつかむ。	友達に知らせるために自分新聞をつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の例を見せることで、イメージをつかめるようにする。</li> <li>・出来事だけでなく、自分の考えや気づきを入れて友達に伝えるとことを助言する。</li> </ul>		
	2 新聞づくりの計画を立てる。	<p style="text-align: center;">友達に知らせたいことを考えよう。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px dashed black; padding: 5px;">思い出や印象に残っていることを載せよう。</td> <td style="border-right: 1px dashed black; padding: 5px;">自分が成長したことやがんばったことを載せよう。</td> <td style="padding: 5px;">自分が興味をもっていることを載せよう。</td> </tr> </table>		思い出や印象に残っていることを載せよう。	自分が成長したことやがんばったことを載せよう。
思い出や印象に残っていることを載せよう。	自分が成長したことやがんばったことを載せよう。	自分が興味をもっていることを載せよう。			

	<p>3 素材を集める。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">日記や表現物を見直してみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">友達にインタビューをしよう。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カルタとり大会で3位になったよ。</li> <li>・陸上クラブで活躍したよ。</li> <li>・キャンプに行き、カレーを上手に自分で作ったよ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会で、かけっこが速かったよ。</li> <li>・ごみ拾いのボランティアをがんばっているよ。</li> <li>・班のリーダーとして活躍しているよ。</li> </ul> </div> </div>	<p>⑦ 友達のがんばりやよさを伝えることができているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく友達に聞けない児童に対しては、話型を助言したり、一緒に問いかけたりする。</li> </ul>
	<p>4 素材を整理する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分にはこんなよさがあったんだ。1年生の時と比べると大きく成長したなあ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">どの材料を記事にするか決めよう。一番伝えたいことは何かな。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材を整理する際には、成長したことや印象に残っていることを箇条書きにして表すよう助言する。</li> </ul>
	<p>5 学習を振り返る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分新聞の材料を取材すると、今まで気づかなかった自分のよさや成長がわかったよ。それを生かして、こんな仕事に就いてみたいなあ。新聞づくりもこれからの生活もがんばるぞ。</div>	<p>⑧ 自分のよさや成長に気づくことができたか。</p>
<p>次時以降</p>	<p>○ 新聞づくり 書きたい内容を整理してメモにまとめ、割付を決めて中心になる記事を書く。友達相互に読み直したり、書き直したりして新聞を仕上げる。その際、自分のよさや成長から、将来についての思いも記事に込めさせたい。</p> <p>○ 新聞発表会 保護者を招待して、完成した新聞を紹介し合うことで、自分や友達の表現のよさや自分の思いを伝えることの楽しさに気づくことができる。このような活動を通して、子どもたちは自分らしさに気づいたり友達の夢に触れたりしながら、将来像を描くことができる。</p>		

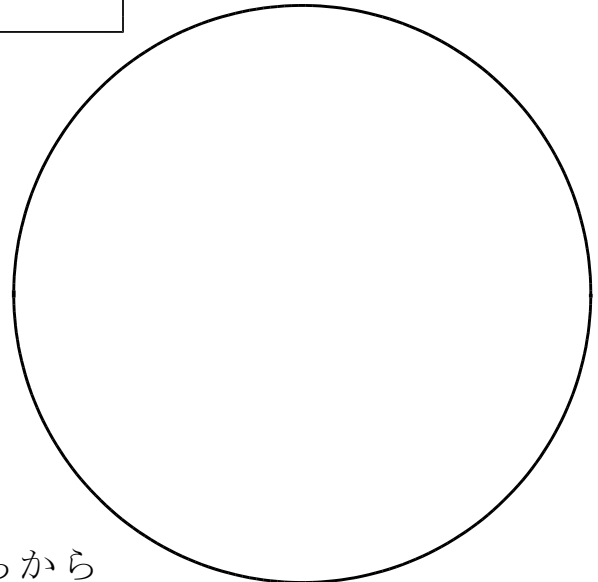
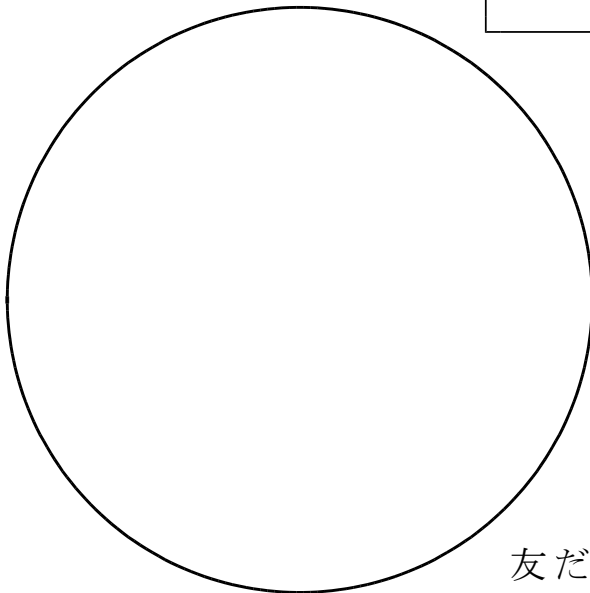
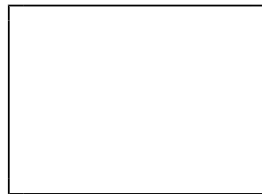
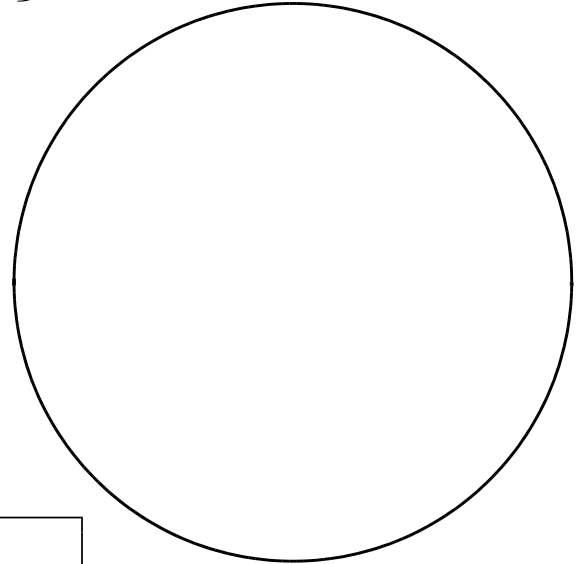
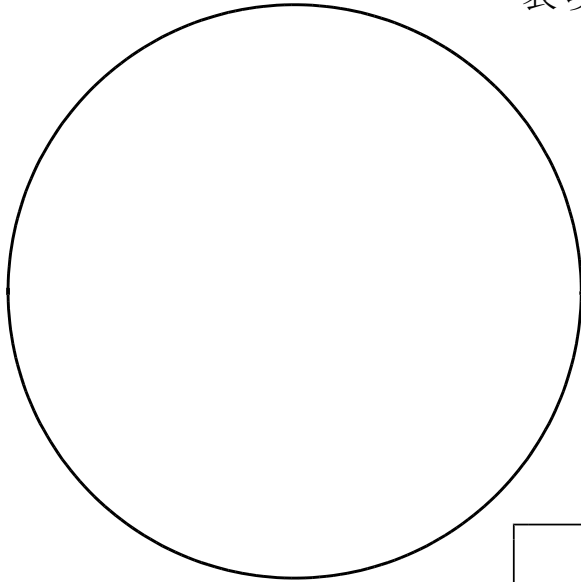
<h1>4年で最初のあぶら絵</h1>		<h2>わくわく新聞</h2>
<p>毎週月曜日、絵画教室で、四年生で最初のあぶら絵をかきました。</p> <p>一年生は自分の顔、二年生はほりす三年生の時は風景とアドバイスしてくれました。あぶら絵は一回かくときれいに仕上がります。あぶら絵の先生が、羽のところがよく見えてかいてね。たのびたので、大喜びで、おねえさんに習った。おねえさんが「まわりはだんだんうすくしたら」</p>		
<h3>安全地図マップ</h3>	<h3>感想</h3>	<p>九月九日ごろ コミニティーセンターでお母さんと安全地図を作りました。消火器の矢印は何だということわかりました。わたしはこれぞ消火器の場所の人はわかりやすいなと思いました。</p>
	<p>わたしは、この習い事をやめた。わたしは、この習い事をやめた。わたしは、この習い事をやめた。</p>	<p>わたしは、この新聞にまつ仕事かしたいです。そのために今からでも学んでおきたいです。わたしは、この新聞にまつ仕事かしたいです。</p>
<p>三年のころと比べて、あぶら絵の先生が、羽のところがよく見えてかいてね。たのびたので、大喜びで、おねえさんに習った。おねえさんが「まわりはだんだんうすくしたら」</p>	<p>三年のころと比べて、あぶら絵の先生が、羽のところがよく見えてかいてね。たのびたので、大喜びで、おねえさんに習った。おねえさんが「まわりはだんだんうすくしたら」</p>	<p>三年のころと比べて、あぶら絵の先生が、羽のところがよく見えてかいてね。たのびたので、大喜びで、おねえさんに習った。おねえさんが「まわりはだんだんうすくしたら」</p>

習い事の油絵で自信を持った児童は、将来、画家になることを夢見ている。なお、友達の相互評価を書いた付箋紙を下段に貼り付けている。

# 自分新聞の材料をあつめよう

年 組 名前

表現物から



友だちから

○感そう



## 事例8 地域ボランティア活動に挑戦！ (3・4年：総合的な学習の時間)

地域の公園や公共施設などでボランティア活動に取り組み、自分たちの活動が地域のためになっていることや、活動をやり遂げたときの満足感、成就感などやりがいを体感していく中で、進んで働くことのすばらしさを学んでいく授業である。

### 1 単元名 地域ボランティア活動に挑戦！

### 2 単元について

生活科での地域探検や日常の生活範囲の広がりから、子どもたちの世界は家庭から外の社会へと広がっていく。また、家庭での手伝いや学級での係活動などを通して、子どもたちは仕事をする人や人のために働くことのやりがい、喜びを体感し、身のまわりの仕事や環境への関心・意欲を向上させていく。

活動すること自体を楽しめる中学年の発達段階を踏まえ、地域ボランティア活動に取り組みせることで、働くことの楽しさ、やりがい、成就感を十分味わわせていく。その中で、直接五感に訴え、働くことの意義や役割及び多様性の理解につなげていく。

地域の公園や公共施設の調べ学習やボランティア活動をしている人々との交流を通して、自分たちにもできることを考えさせ、活動の内容や場所ごとにグループを作る。そして、友達やボランティア活動をしている人との話し合い活動で計画を立て、その計画をもとにボランティア活動を行う。活動後は、一人一人の気持ちを大切に、よりよい活動へとさらに計画を立てさせたり、仕事や職業調べへのステップとしたりするなど、活動を発展させていく。

さらに、日常生活の中での地域の公園や公共施設の利用の仕方も振り返らせることで、ごみの片付けや遊具等の施設の使い方など、公衆道徳についても学ぶ機会とした。

### 3 育成したい態度・能力

#### 選択能力

- ◎ 取り組みたいボランティア活動について考え、計画し、進んで取り組むことができる。
- 自分の役割を理解し、責任をもってやり遂げることができる。
- してはいけないことは自制することができる。

#### 自他の理解能力

- ◎ 集団の中で助け合うことの大切さや楽しさ、やりがいを体感することができる。
- 地域を支えている人々に気づき、感謝することができる。

### 4 学習指導過程

前時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域探検でお世話になった公園の様子を振り返る。花壇が整備されていたり、清掃が行き届いていたりすることに目を向けさせる。</li> <li>○ 花を植えたり、掃除をしてくれたりしている地域ボランティアの方をゲストティーチャーとして招き、活動の内容や思い、やりがいなどを質問する。</li> <li>○ 普段公園を使っているとき、ごみを捨てたり、遊具などを乱暴に使ったりしていないかなど、公衆道徳について考え実践力につなげていく。</li> <li>○ 地域ボランティアに取り組んでいる方の話から、自分たちでもできるボランティア活動の計画を立てる。</li> <li>○ ボランティアの内容ごとにグループに分かれ、準備をする。 (例 花いっぱい、ごみゼロ、呼びかけ立て看板等)</li> </ul>		
	学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価
	1 自分に取り組む活動の確認をする。	今日は町の公園を〇〇するぞ！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所までの行き帰りの安全について十分伝えておく。</li> </ul>

本 時	(花いっぱい、 ごみゼロ、立て 看板)	花だんをたが やして、新し い苗を植える よ。	「きれいな公 園のままに」 という看板を 立てるよ。	すみずみま できれいに ごみ拾いを するよ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで活動ができるように自分の仕事を活動前に確認する。</li> </ul> <p>①めあてにそって、 進んで活動をする ことができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の聞き方や態度について十分周知する。</li> <li>・子どもたちの活動を賞賛してもらうようお願いをした上で、活動について話をお願いする。</li> </ul> <p>②友達と協力して 活動し、めあてを を達成することが できたか。</p>
	2 グループご とに活動にと りかかる。	わたしたちの町の公園のために〇〇〇を がんばるぞ！			
時	3 地域ボラン ティアの方か ら話を聞く。	地域ボランティアの方に話を聞こう。			
	※ 時間があれ ば、活動を続 ける。	水やりや肥料 の計画も立て ないといけな いな。	立て看板のま わりもきれい にそうじをし なくては。	落ち葉は集 めておくと 腐葉土にな るよ。	
	4 記念写真を 撮る。	今できることは、協力して、今しよう。			
		記念写真をとって、次の活動もがんばろう。			

次 時 以 降	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボランティア活動を振り返り、活動を継続させたり、仕事調べにつなげたりしていく。</li> <li>○ 子どもたちの活動の感想をまとめ、家庭や地域へ発信することで、子どもの成就感を高めたり、地域・保護者の理解や協力を得たりする。</li> <li>○ 学級の係の仕事や清掃について、ボランティア活動と重ねて話し合い、進んで取り組むようにする。</li> <li>○ 地域ボランティアをして感じたことや考えたことをもとに公園や公衆施設の使い方について振り返り、「ごみを捨てない」「施設を大切に使う」「落書きをしない」などの実践につなげる。</li> </ul> <p>&lt;地域ボランティア活動を行うにあたって&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動を継続させるための手だてを十分考えていく必要がある。そのためには、ボランティア活動自体がカリキュラム上、負担にならないか検討しておく。また、活動内容も継続できるものかどうか、発展的な活動の余地があるかどうか把握しておく。</li> <li>○ ボランティア活動を通して地域に関わることは、様々な教育活動に広がるが、校外に出での活動となるので、安全面については十分検討する。 例えば、活動場所までの安全面、活動内容によってグループにつく教職員数、不審者対策などである。学生ボランティアやPTAとの連携を図り、安全に配慮した地域学習にしなければならない。</li> </ul>
------------------	---



地域の公園でのボランティア活動の様子

## ボランティアのけいかくをたてよう

年 組 名 前

町の公園をきれいにするためにわたしができること

いっしょにボランティアに取り組む友だち

用いするもの・持っていくもの・行くまでにしておくこと

わたしのめあて

---

---

---

---

---

---

## ボランティアにとりくんで

年 組 名 前

○ 町の公園をきれいにするためにわたしがしたこと

○ よかったこと・思ったこと・考えたこと

---

---

---

---

---

---

---

○ これからしてみたいこと・これからすること

先生から

## 事例9 男と女はどちらが得か？（5年：学級活動）

「男と女はどちらが得か？」という論題でディベートを行うことを通して、互いの特性やよさに気づき、相手を認め合うことができる授業である。

### 1 単元名 男女の協力

### 2 単元について

高学年になると、男女が互いに異性を意識し始め、話し合ったり同じグループで協力したりすることが難しい場面もある。そんなときだからこそ、相手に対して思っていることを話し合い、理解を深める時間が必要となる。

国語科で学習するディベートの方法を用いて、互いの特性やよさに気づき、相手を尊重する心を養っていくことができると思われる。

### 3 育成したい能力・態度

#### 自他の理解能力

- ◎ 自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮することができる。
- ディベートに進んで参加し、自分と異なる意見も認めることができる。

#### コミュニケーション能力

- 思いやりをもち、相手の立場に立って考え、行動しようとするすることができる。

### 4 学習指導過程

前時まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男と女、それぞれの立場に分かれてよさを調べる。 (男子と女子に別れるのではなく、男子グループに女子が入ってもよいし、その逆でもよい。)</li> <li>○ 家族から話を聞くなどして、たくさんのよさやそれを裏付ける資料を集めることで、自己肯定感を養うとともに、相手のよさにも気づかせる。</li> </ul>		
本時	学習活動	予想される児童の意識の流れ	教師の支援・評価
	1 論題を確認する。  2 ディベートをする。 (1) 立論	<pre> graph TD     A[男と女はどちらが得か?] --&gt; B[&lt;男が得グループ&gt;]     B --&gt; C[身体に関すること (力が強い等)]     B --&gt; D[容姿に関すること (ズボン, 短髪等)]     B --&gt; E[家事をすることが少ない]           </pre>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの論を相手に訴えていくというディベートの目的を確認し、相手を打ち負かすだけに終わらないように配慮する。</li> <li>・立論では、アンケートやインタビューの結果など客観的な資料を準備するよう指導する。</li> </ul>

	<p>(2) 反論</p> <p>(3) 結論</p> <p>(4) 審判団の判定</p> <p>3 本時のまとめをし、それぞれのよさに気づく。</p>	<div style="text-align: center;"> <p>&lt;女が得グループ&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>身体に関すること (平均寿命が長い等)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>容姿に関すること (スカート, 化粧等)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>子どもを生むことができる</p> </div> </div> <p>&lt;女&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のスポーツ選手が増えている。</li> <li>・ズボンは女性でもはける。</li> <li>・家事をする男性が増えてきている。</li> </ul> </div> <p>&lt;男&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性もおしゃれができる。</li> <li>・男性も子育てをすることができる。</li> </ul> </div> <p>&lt;女&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>～と言いましたが、～なので女性の方が得だと考えます。</p> </div> <p>&lt;男&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>～と言いましたが、～なので男性の方が得だと考えます。</p> </div> <p>今回の話し合いは、〇〇グループの勝ちとします。わけは…</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>男女それぞれによさがあり、互いに助け合って生活しているのだな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ぼくは力が強いから、力仕事は進んでがんばりたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>わたしは家庭でも手伝いをして、自分の役割を果たしたいな。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が立論をしている間は静かに聞き、相手を尊重するよう指導する。</li> <li>・たくさんの視点でそれぞれのよさが見つけられている児童やグループを称賛し、よさを見つけることの大切さを感じさせる。</li> </ul> <p>⑦話し合い活動に進んで参加しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のよい部分を認めつつ、自分たちの強く訴えたい意見を発表するよう指導する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判団も全員が感想を述べ、話し合いに参加できるようにする。</li> <li>・相手を非難するのではなく、「どちらが得とは言えない」という表現を取り上げ、それぞれのよさに気づかせる。</li> </ul> <p>⑧自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮したいという気持ちを自己評価カードに書けたか。</p>
<p>次時以降</p>	<p>授業を終えた児童の感想文を学級通信に掲載し保護者に伝えることで、学校だけでなく家庭でも自分らしさを発揮して手伝いなどができるようにする。</p>		

## ディベート 学習カード

名 前 ( )

論題

私たちは

と考えます。

☆ 自分たちの考えが正しいというわけ

そのわけは

だからです。

たとえば

もし

☆ 相手の考えに対する意見や質問, またはわからないこと

先ほど

と言いましたが,

それは

なので,

→そんなことはないと思います。

→どちらがよいとは言えないと思います。

→逆に言えばこちらがよいと言えます。

☆ まとめの発表

という理由で,

もよいということがわかりましたが,

という理由で

わたしたちは

がよいと考えます。

## ディベート 司会者用カード

名 前 ( )

ろんだい  
論題

男と女はどちらが得か？

司会 : これから話し合いを始めます。起立, 礼, 着席。

論題は『 男と女はどちらが得か? 』です。  
作戦タイムを( )分間とります。それぞれのグループで考えをまとめてください。

司会 : まず, 【 男が得 】グループから( )分間で考えを述べてください。

(時間がすぎたら, 「時間がきましたので, と中ですがやめてください。」と言って止める。)

司会 : ありがとうございます。

次に, 【 女が得 】グループは( )分間で考えを述べてください。

(時間がすぎたら, 「時間がきましたので, と中ですがやめてください。」と言って止める。)

司会 : ありがとうございます。

おたがいの考えがわかったと思いますので, 反げきタイムの準備をしてください。

相談する時間を( )分間とります。それでは相談してください。

(時間がすぎたら, 「時間がきましたので, と中ですがやめてください。」と言って止める。)

司会 : まず, 【 女が得 】グループから, ( )分間で反対意見を発表してください。

司会 : ありがとうございます。

次に, 【 男が得 】グループは( )分間で反対意見を発表してください。

司会 : ありがとうございます。

それでは, 最後の考えをまとめる時間を( )分間とります。話し合ってください。

(時間がすぎたら, 「時間がきましたので, と中ですがやめてください。」と言って止める。)

司会 : では, 【 女が得 】グループから, ( )分で最後の発表をしてください。

司会 : 次に, 【 男が得 】グループは, ( )分で最後の発表をしてください。

司会 : それでは審判団の話し合いにうつります。( ( )分間待つてから )

それでは審判長は判決を発表してください。

司会 : これで話し合いを終わります。起立, 礼, 着席。



## ディベート 審判カード

名 前 ( )

できていた … ○      できていなかった … ×

	【 男が得 グループ 】	【 女が得 グループ 】
① 自分の考えをはっきりと大きな声で話せていた。		
② わけをきちんと発表できていた。		
③ なっとくできる意見で反げきしていた。		
④ 資料を使って発表できていた。		
⑤ 相手の方を見て発表していた。		
⑥ 全員が発表していた。		
⑦ 作戦タイムのとき、全員が相談していた。		
⑧ 相手の発表のじゃまをしないで、いっしょうけんめい聞いていた。		
合 計		

### 発言のてびき(審判)

審判長: 審判団の判定を言います。

審議の結果、今回の話し合いは【

】グループの勝ちとします。

わたしは【

】グループの

という意見がとてもわかりやすかったです。

※ 良い意見やなっとくできた意見、上手に発表できた人を紹介してもよい。

## ディベート 自己評価カード

名 前 ( )

できていた … ○      できていなかった … ×

① 今日の話し合い(ディベート)は楽しかった。	
② 自分の意見をわかりやすく言うことができた。	
③ 大きな声で、はっきりと言うことができた。	
④ 適切な資料を準備することができた。	
⑤ 相手の意見をいっしょけんめい聞くことができた。	
⑥ 話し合うことによって、自分の意見が変わったり、深まったりした。	
☆ 相手グループのよかったところや、なっとくできた意見を書きましょう。	
《 感想 》	
《 先生から一言 》	

## 事例 10 がんばれ すごいぞ 岡田さん (6年: 道徳)

ボランティアでガイドをしている人の仕事ぶりから、奉仕することの生き甲斐や誇り、喜びを知り、尊敬の気持ちを感じることができる授業である。

### 1 主題名 奉仕する喜び (中心資料 ガイドをするよろこび)

香川県小学校道徳教育研究会読み物資料

### 2 主題について

この主題でねらう中心価値は、学習指導要領4-(4)「社会奉仕」である。働くことには、自分自身の生き甲斐や誇り、喜びがあり、そのため人は自分の仕事に対して工夫や努力を注ぎ込むことができるのである。働くことの意義を正しく理解するとともに、社会への奉仕や公共のために尽くす活動に目を向けさせ、積極的に取り組む態度を育てることが大切である。

また、ボランティアについて考える際、「相手のために」「自分のために」という2つの観点から考える必要がある。そこで、その2つの観点から自分の活動を見つめ直し、改善点などを考えていく。そして、働くことや奉仕をすることへの自分の考えをまとめることで、実践への意欲化を図りたい。さらに、生き甲斐や誇り、喜びをもって働くことの素晴らしさを実感できるような体験活動へとつなげていきたい。

### 3 育成したい能力・態度

#### 自他の理解能力

◎ 社会に貢献している人について学び、尊敬の気持ちをもつことができる。

#### 職業理解能力

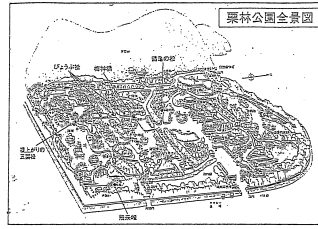
○ 目標をもって学習や活動に取り組むことの大切さがわかる。

### 4 学習指導過程

前時 まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料を読み、線を引いたり、書き込みをしたりして、自分なりの読み取りを行っておく。</li> <li>○ 資料から感じたことや考えたことをまとめておく。</li> </ul>		
本時	<p>学習活動</p> <p>1 資料を読み、学習問題をつかむ。</p>	<p>予想される児童の意識の流れ</p> <pre> graph TD     A[岡田さんの素晴らしさを見つけよう。] --&gt; B[80才を過ぎてもボランティアで観光ガイドをしている。そのことに喜びを感じている。]     A --&gt; C[ガイドをするために、何回も調べたり、練習したりして、すごく努力をしている。]         </pre>	<p>教師の支援・評価</p> <p>・人物の素晴らしさを感じるところに線を引き、書き込みをしたことから、感じたことや考えたことを発表させる。 〈資料参照〉</p>

	<p>2 ガイドをする 岡田さんの気持ちを考える。</p> <p>(1) 気持ちが表われている言葉を探り、発表する。(場面選択)</p> <p>(2) ことばに込められた岡田さんの思いを考えて発表する。</p> <p>3 岡田さんに学んだことから、ボランティアの喜びとは何かを話し合い、まとめる。</p> <p>4 自分の生活に役立てられることを考え、書く。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       岡田さんは、なぜ80才を過ぎても生き生きとガイドをしてボランティア活動に打ち込むことができるのだろう。     </div> <p>〈栗林公園への思い〉 〈ガイドにかける思い〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         ・代々の殿様が…          ・町の人々の苦労を…          ・…としても救われた          ・公園の名前の由来       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         ・いい加減なことは…          ・納得するまで何回も          ・一人で何回も歩いて練習          ・すぐ調べメモにまとめる       </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         公園の美しさだけでなく、その裏にある代々の殿様や人々の気持ちを知ってほしい。栗林公園は、私や市民の誇りなんだ。       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         自分が納得しないとお客さんにも満足してもらえない。そのためには、何度も調べ、練習しないとイケない。       </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         「観光客の人にぜひ知ってもらいたい」       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         「よくわかったと言ってくれることが一番の喜び」       </div> </div> <p>〈相手のために〉 〈自分のために〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         観光客が喜んでくれ、栗林公園についてよく知ってくれたらうれしい。喜んでくれる顔が見たい。そのために努力をしよう。       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">         自分のガイドを聞いて喜んでくれる人がいる。必要とされている。自分のためにも、めあてを持って取り組んでいこう。       </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">       ボランティアには、「相手のため」と「自分のため」の両方の喜びがあるんだ。     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">       自分を高めていくためには、めあてを持って努力を続けることが大切だ。岡田さんから学んだことをこれからの自分の生活に役立てていこう。     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人学びの時間をとり、じっくり読んで気持ちの表われている言葉を探し、線を引かせる。</li> <li>・ 岡田さん自身のガイドとしての成長と奉仕する心という観点から、岡田さんの気持ちを考えるよう指示する。</li> <li>⑩ 岡田さんの思いを発表することができたか。</li> <li>・ ボランティアの喜びに対して自分の考えを書いて、自信を持って話し合えるようにする。</li> <li>・ 2つの観点到に気づけるように板書を工夫する。</li> <li>・ 岡田さんの地道な取り組みの過程と観光客に対する思いやりに学ぶべきことがあることを押さえ、価値に迫れるようにする。</li> <li>・ 自分の考えを書くことで今後の生活への意欲化を図る。</li> <li>⑪ 話し合いをする中で、岡田さんに対する尊敬の気持ちを持ち、自分の目標を考え書くことができたか。</li> </ul>
<p>次時以降</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間などで、地域のボランティアガイドの話聞く機会をもつ。</li> <li>○ 自分の身近なところでボランティア活動について調べたり、体験したりして実践化を図る。</li> </ul>		

資料の価値  
分析を行う  
ための書き  
込み例



ガイドをするよるこび

(4) 社会奉仕

「今日もお客さんがよろこんでくれた。本当にうれしいことだ。」  
自分から進んで奉仕する心。  
ボランティアで栗林公園の観光ガイドをしている岡田明さんは、八十才を過ぎた今も、観光客との出会いを求めて栗林公園に出かける。そして、一つ仕事が終わるたびにそうつぶやくのです。

毎日続けているんだ

日曜日の朝、いつものように栗林公園の正門の前に立ちます。

「栗林公園のガイドをお願いしますか。」

体いやり、親切

「はい、はい。ようこそ、おいでくださいました。それでは、さっそく参りましょう。」  
心をとめて、喜んでガイドをしている  
岡田さんの様子がよく分かる。  
見ると、一組のご夫婦です。岡田さんは、公園に入つてすぐ

の『鶴亀の松』に案内しました。

「ほほう、見事な松ですね。」

「この松は、亀の形をした岩の上に鶴が羽を広げて舞っているように見えるので鶴亀の松といえます。もともとは、殿様の家老の家にあった松をここに植えたものです。」

次に『梅林橋』をわたり、『びょうぶ松』と呼ばれる美しい松並木を

根上がりの五葉松』へと向かいました。

「これからご案内する松も殿様が参勤交代で江戸から持ち帰った盆栽が大きく生長したものです。この栗林公園の中には殿様ゆかりのものがたくさんあります。それは、高松藩の代々の殿様が大事にしてきたからなんです。それに、完成するまで百年もかかっているのです。景色の美しい公園をつくるという殿様の道楽ではなく、町に住む人たちの苦勞を救うためにもなったことが他の公園にならばいいところなんです。」

どこか他の公園と違つたところ

岡田さんの言葉に力が入りました。

「町の人のためにもなったのですか。」

「そうなんです。この百年の間には、日照りのために何回もひどいききんが起きました。そこで、当時の殿様は、生活に困つた人々を助けるために木や岩を集める仕事や池をさらいたり山を築いたりする仕事をつくり、その報酬とし

てお金や食料をわたしました。当時の人々は、とても助けられたのです。また、ききんに備えてたくさんのお菓子を植えていたのです。栗林公園という名前の由来もここにあるのです。まさに、人助けのための庭造りでもあったのです。わたしは、そのところを観光客の方にぜひ知ってもらいたいと思って、こうしてガイドを続けています。」

切實な愛

案内されているご夫婦は、感心して言いました。

岡田さんは最後に公園が一望できる『飛来峰』へと案内しました。その道すがら、  
「それにしても、よく知っていますね。」

「いやいや、わたしも初めは、あまり知らなかつたのです。歴史が好きで多少は知っていましたが、観光客の方に話すとなると、いいかげんなことは言えません。図書館で調べたり、歴史博物館へ行って話を聞いたりして、自分で納得するまで何回も調べました。」  
下とくを屈

「だから、よくご存知なんです。それにガイドの仕方とてもわかりやすいですね。」

岡田さんは、ポケットの中からガイドメモを出して見せました。それは何年も使いついで古びていますが、今も大切にしているものです。  
岡田さんの歴史が、ききまされてるんだ

「自分なりにこんなメモを作りましてね。今でこそ、このメモを見なくても案内ができるほどになりましたけど、初めは、一人で公園の中を何回も歩いて練習をしたんです。お客さんに聞かれて、わからないことがあれば、また調べる。調べたことはメモをするという具合で、このメモも次第にふえてきました。」

「それで、ますますよくわかるようにガイドができるようになったんです。」

「お客さんが聞いてくれるおかげで、もつともつと栗林公園について知らなければという気になりました。お客さんが、よくわかったと言ってよるこんでくれることがわたしの一番のよろこびです。」  
(4) 社会奉仕

「今日は、本当にありがとうございました。おかげで栗林公園のすばらしさがよくわかりました。」

岡田さんは、よるこんで帰る夫婦の後ろ姿を見送りました。  
また、こつうな女を見た、い

※岡田さんの生き方への共感

- 指導のポイント (児童の書き込み)
- ・ 事前の書き込み内容を把握しておき、本時の授業を組織化することが大切である。
  - ・ 経験がない児童には、最初は一緒に書き込む等の練習が必要である。(国語科などにおける指導)



## 事例 11 まちの“公共”シンキング！ （6年：社会科）

公共施設について調べたり，学んだりしたことを振り返り，よりよい社会を創り出していこうとする意欲をもつことができる授業である。

1 単元名 わたしたちの願いを実現する政治

### 2 単元について

昨今，子どもたちの身近な地域の施設や設備・環境への気づきが少なくなったと言われている。そのため，地域の施設や設備を自分から進んで利用することも少なく，その役割や仕組みについては理解できていないと思われる。また，自分の力で何かを獲得しようとする意欲や機会も失われつつある。

そこで，本単元では，公共施設の調べ学習を通して，政治の役割に気づかせる学習を構成する。国民の願いをどのように実現しているかを具体的に調べることによって，「政治は自分の生活の身近にある」ということを実感できるようにさせたい。そして，身近にある「公共=みんな」を考え直すことで，社会に生きる自らの将来を考え，夢を持って前向きに取り組んでいく力を育てていきたい。

### 3 育成したい能力・態度

#### 役割把握・認識能力

- ◎ 自らの将来の生き方を支える日常の生活や学習の大切さに気づくことができる。
- 社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さに気づくことができる。

### 4 学習指導過程（9時間計画 本時9／9）

前時 まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ “公共”に関わるものやことを探し，公共について考え政治の働きについて関心をもつ。</li> <li>○ 公共施設について調べる計画を立て，見学する。</li> <li>○ 建設までを調べ，市議会を訪ねる。</li> <li>○ 税金の働きや国会の働きを調べる。</li> <li>○ 選挙の大切さについて考える。</li> <li>○ もう一度“公共”と政治について考える。</li> </ul>		
本時	<p>学習活動</p> <p>1 今までの学習を振り返り，どんな公共があるかを考える。</p> <p>2 公共について考え直す。 (1) どんな人が含まれるか，どんなものがあるかを考えて発表する。</p>	<p>予想される児童の意識の流れ</p> <p style="text-align: center;">公共=みんな ←→ 政治</p> <p style="text-align: center;">クラス      学校      地域</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>もう一度“公共”と政治について考えよう。</p> </div> <p style="text-align: center;">みんなってどんな人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども              ・大人              ・お年寄り</li> <li>・車椅子を利用している人</li> <li>・障害のある人</li> <li>・赤ちゃんのいる人</li> <li>・外国の人</li> </ul>	<p>教師の支援・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのノートを振り返り，“公共”について考え直す時間をとる。</li> <li>・公共と政治との関連についても触れる。</li> <li>・地域の公共から学校の公共，そしてクラスの公共へと考えを広げさせ，自分たちのすぐ近くにも公共があることに気づかせる。</li> </ul>

	<p>(2) 公共をよりよくするための考えを書き、話し合う。</p> <p>(3) 政治の役割について振り返る。</p> <p>3 よりよい“公共”を築いていくためにどんなことができるかをまとめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">みんなのものってどんなもの</p> <p>&lt;もの&gt;公園の遊具, 図書館の本        &lt;場所&gt;駅, 病院, 学校, 図書館        &lt;乗り物&gt; 電車, バス        &lt;マナー&gt;ポイ捨てしない                  大声を出さない                  走らない</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次に使う人のことを考えて大切に使う。</li> <li>・駅の通路や道路では、急いでいる人もいるので横に広がって歩かない。</li> <li>・病院では、具合の悪い人が大勢いるので静かにする。</li> <li>・電車の中では、他の人の迷惑になるので大声で喋らない。</li> <li>・みんなの使う道路を汚さない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>道路を整備したり, 公園をきれいにしたりするためには, 政治の役割が欠かせない。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“公共”って私たちの行動や生き方と関係がありそうだ。</li> <li>・私たちの生活は, “公共”によって支えられている。</li> <li>・自分たちにできるボランティア活動をしていこう。</li> <li>・自分から地域に働きかけていこう。</li> </ul> </div>	<p>① 公共の中に含まれる人やものを考えて発表することができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしてそうするのか, 根拠や理由を考えて納得させられるように話をさせる。</li> <li>・ 共通点を見つけさせ, よりよい公共を築いていくために必要なことを考えさせる。</li> <li>・ 様々な人の立場に立って考え, 行動することが大切だということを押さえる。</li> <li>・ 政治に関わっていくことが, 公共をよりよくしていくことであることを再確認する。</li> </ul> <p>② 公共をよりよくするための根拠や理由を入れて, 自分の考えが書けたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来は自分たちで創り出していけるのだという前向きな気持ちをもてるような話をする。</li> </ul>
<p>次 時 以 降</p>	<p>○ 政治の働きを考える        災害から人々を守る（東海豪雨の例）        地域の特色を生かしたまちづくり（歴史歴名環境を生かした川越市の例）</p>		



5 発展的な取組

福祉をテーマにした「総合的な学習」と関連を図る  
～公共の福祉施設と政治～

〈展開例〉

1 体験活動を行う。

- ◇ 高齢者疑似体験
- ◇ アイマスク体験
- ◇ 車いす体験

2 特別養護老人ホームの方の話を聞く。

- ◇ 福祉施設の役割や問題点
- ◇ 入所者の生活や気持ち
- ◇ 職員の仕事内容や気持ち
- ◇ お礼の手紙を書く。

3 体験活動を行う。

- ◇ 依頼の手紙を書く。
- ◇ 施設訪問の計画を立て、準備をする。
- ◇ 訪問して、交流活動を行う。
- ◇ 訪問後の感想や反省、今後のめあてを書く。
- ◇ お礼の葉書を書く。

4 再度訪問して、活動のまとめをする。



①  
 目かくしをして歩いてみたら、周りの様子が分からないので、こわくて不安になりました。車いすを使ってみると、歩くことができないので、なかなか自分の行きたい場所に行くことができませんでした。少ししか体験してないので、終われば僕は自由に歩くことができます。でも、お年よりは、いつも体が自由に動くことができません。「お年よりも家族も大変だなあ」と思いました。だから、このようなお年よりがいたら、やさしく声をかけてあげたいです。また、いやな気持ちになる言葉は、いけません。

指導のポイント

- 福祉施設への連絡なども、できるだけ児童に体験をさせることが望ましい。その際、事前準備をきちんとしておくことが必要である。
- 交流内容については、教師が予め施設側と打ち合わせを行い、よりふさわしい活動を児童に助言できるようにしておくことが大切である。

- \* この学習は、次の単元
  - 「わたしたちのくらしと日本国憲法」
    - わたしたちのまちの福祉
    - 福祉を支える人々

へとつながっていく。

# もう一度 “公共” と政治について考えよう

6年（ ）

「公共＝みんな」の中には、 どんな人たちが含まれているのだろう	公共には、どんなものがあるのだろう	公共をより良くしていくために 自分たちにできること

## 事例 12 わたしたちのお店を開こう (5・6年：総合的な学習の時間)

地域の特産物や名所を、観光客や地域の方々に紹介するために、自分たちでお店を開く計画を立て、準備・運営する力を養うことができる授業である。

### 1 単元名 観光案内のお店を開く

### 2 単元について

総合的な学習の時間に、地域の歴史・名所・特産物などを調べることは、どの学校においてもよく実践されている活動である。本単元では、自分たちの地域を観光客に紹介するお店を開くために、自分たちで計画・準備・運営等を行うことで、役割を分担しながら協力して活動することの大切さを実感させることができる。さらに、自分たちの地域のよさを再認識し、ふるさとに誇りをもつこともできると思われる。

### 3 育成したい能力・態度

#### 役割把握・認識能力

- ◎ 社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さがわかる。
- 仕事における役割の関連性や変化に気づくことができる。

#### 情報収集・探索能力

- 身近な産業・職業の様子やその変化がわかる。

### 4 学習指導過程

前時 まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループに分かれて地域の特産物や名所を調べ、それらを観光客や地域の方々に詳しく知ってもらいたいという願いをもつことで、活動への意欲を高める。</li> <li>○ お店を開く場所や日時を考えて場所の使用許可をとったり、地域の方々へ協力をお願いする手紙を作成したりするなど、ひとつのイベントを成功させるためにはたくさんの準備が必要であり、多くの人々が協力してくれていることを知る。</li> <li>○ お店で配るものの作成や、食べてもらう料理の調理など、前日までにできることと、当日にすることを考えながら準備を進める。また、当日の役割分担などの最終確認を行い、グループ内だけでなく、グループ間の協力体制も確認する。</li> </ul>		
本 時	<p>学習活動</p> <p>1 学習課題をつかみ、お店の準備を行う。</p>	<p>予想される児童の意識の流れ</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>わたしたちのお店を成功させよう！</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【グループ例】</p> <p>A 特産物を使ったオリジナル料理</p> <p>B 名所の写真を使った写真立て</p> <p>C スタンプラリーの紹介</p> <p>D 紙芝居にして地域を紹介</p> <p>E しおりのプレゼント</p> </div>	<p>教師の支援・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに場所を把握し、互いに活動しやすいよう品物を配置するなどの工夫を促す。</li> <li>・通行する人の妨げにならないようにするなど、公衆道徳についても確認する。</li> </ul>

	<p>2 お店を開く。</p> <p>3 お店の片付けをする。</p> <p>4 互いに感想を話し合う。</p> <p>5 活動を振り返る。</p>	<p>・料理を準備するのはぼくががんばる。わたすのは友だちにしてもらおう。</p> <p>・観光客のみなさんが喜んでくれるとうれしいな。</p> <p>・地域の名所を巡るスタンプラリーにたくさんの人が参加してほしいな。</p> <p>・紙芝居グループと協力して、紙芝居の後にしおりをプレゼントしよう。</p> <p>喜んでもらえてよかったな。片付けも最後までがんばろう。</p> <p>まだ片付けが終わっていないグループがあるな。手伝おう。</p> <p>協力してくださった方々にお礼を言おう。</p> <p>大変だったけれど、やりがいがあったな。</p> <p>たくさんの方がありがたうと言ってってくれてよかったな。</p> <p>みんなで協力できたことがうれしかったな。</p> <p>学校や家などで、これからも自分の役割を果たしていきたいな。</p>	<p>・グループ間で互いに協力できることはないかを考え、自分のグループだけの活動にならないように指導する。</p> <p>⑦ 仕事における役割の関連性に気づき、協力できているか。</p> <p>・楽しいだけでなく、最後の片づけまでできることが責任を果たすことであることを伝える。</p> <p>・他のグループの片づけを手伝っている児童を称賛し、協力を促す。</p> <p>・働くことの意義を感じさせるために、働くことの喜びや、自分の役割を果たすことのすばらしさにかかわる感想を取り上げる。</p> <p>⑧ 自分の役割を振り返り、役割を果たすことの大切さに気づいて感想を発表したり書いたりできたか。</p>
<p>次時以降</p>	<p>○ 協力してくれた地域の人たちへお礼の手紙を書くことで、感謝の気持ちを大切にするとともに、ひとつの活動にたくさんの方々がかかわってくださったことを再確認できる。</p> <p>○ 後日、観光客から感想の手紙が届くことも考えられる。自分たちの活動が観光客などからどのように評価されたかを手紙によって振り返るとともに、返事を書くことで自分たちの郷土を他の地域の方々にもっと知ってもらいたいという願いをもつことができる。</p>		



つくだに餃子を仕込み中…



オリジナル料理を食べてもらおう！



紙芝居で地域のことを知らせよう！



地域を巡るスタンプラリー開催中…



オリジナルのしおりをプレゼントします！



貝殻を貼り付けて、写真立ての完成！

# 残りご飯でかりかりせんべい

<p>写真</p>	<p><b>材料</b> 2人分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卵(とき卵).....1つ</li> <li>・残りご飯.....200g</li> <li>・小豆島産のしょう油.....20cc</li> <li>・かつお節.....適量</li> <li>・油.....5cc</li> <li>・その他.....好みの物</li> <li>・白ごま.....適量</li> </ul>
<p><b>作り方</b></p> <p>①ボールに残りご飯白ごま かつお節 しょう油 とき卵 お好み の物を入れて混ぜます。</p> <p>②よくまざったらフライパン油を ひいて、こげ目ができるとまでよく焼 きます。焼き上がった後でしょう油 を少しかけるとでき上がります。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>・ときたまが多いと、卵焼きになり 少くないと、ご飯がパラパラして、せんべ いにならないので注意して下さい。 焼いた後でしょう油をかけすぎるとふにゃ ふにゃになってしまいます。</p> <p>・焼いたらすぐに食べて下さい。ふにゃ ふにゃにならぬうちにもう一度焼いて下さい。 ・焼きすぎるとかき揚げになってしまいま す。</p> <p>(焼く時間は20~30秒ぐらいです)</p> <p>小豆島産のしょう油を使って下さい。</p>

○ ○ 小学校 年 特産物グループ

※ お店では、カラー写真を貼り付けてラミネートしたものを見本として展示し、白黒印刷したレシピをお客さんに配布しました。2時間で100枚くらいのレシピを配りました。また、このレシピはホームページにも掲載し、全国に向けて発信しました。



# 中学校における実践事例



## 事例1 工芸ってなんだろう (1年:美術科)

工芸品の鑑賞を通して、それらの美しさを味わうだけでなく、制作方法や制作する人の仕事に対する想いに触れることで、職業選択の幅を広げ、職業への興味・関心を高めさせる授業である。

1 題材名 工芸ってなんだろう (鑑賞)

### 2 題材について

いわゆる伝統工芸は、長い年月をかけて技術が磨かれ、受け継がれてきたものである。「用」と「美」を兼ね備えた美しさは、制作にかかわってきた人々の想いがこもった美しさともいえる。

身近な地域の伝統工芸品の鑑賞を通して、それぞれの美しさを味わわせるだけでなく、その制作方法や制作者の想いも学ばせたい。また、伝統を守り、一つの仕事に打ち込む職人の仕事ぶりを知ることによって、職業への興味・関心を高め、自らの興味・関心にあった職業選択の大切さを学ばせたい。

### 3 育成したい能力・態度

#### 職業理解能力 計画実行能力

○ 工芸にかかわる人々の仕事を知ることによって職業への興味・関心を高めることができる。

#### 選択能力

○ 自分の興味・関心に基づいて、よりよい職業を探そうとすることができる。

### 4 学習指導過程

学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
1 本時の学習課題を聞く。「工芸」とは、どこで、どんな場面で聞いた言葉か思い出してみる。	・「工芸高校」など、テレビ番組の中で聞いたことのある言葉であることを思い出させ、興味・関心を持たせる。	
2 いろいろな工芸品を見て、感じたことを発表する。 ・きれい ・手が込んでいるよう ・やさしい感じ ・手触りがいい ・じょうぶな感じ	・周囲から見るように、美術室の中央に展示場所を設定し、作品を素材別に並べて置く。 ・それぞれの素材については、予め知らせず、生徒に考えさせる。 ・自由に感想を発表させ、その中からそれぞれのよさや美しさに気づかせる。 ・できるだけ全員の生徒に発言の機会を与えるよう配慮する。	

<p>3 それぞれの素材や制作方法について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分類の仕方を参考に素材を考えさせる。</li> <li>・それぞれの素材をどのように加工して制作したかを推測させ、発表させる。</li> <li>・陶芸の経験がある生徒がいたら、制作工程について発表させる。</li> <li>・陶芸、漆芸、染色などについて、制作過程やそれに携わる職人の苦勞などの話をする。</li> <li>・特に技術については、長い年月を経て培われてきたものであること、その伝承については情熱や根氣、努力が不可欠であることなどにも触れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな職業を知ることができたか。</li> </ul>
<p>4 陶芸家の制作光景や談話のビデオを見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ視聴などから、伝統工芸の意味を考えさせる。</li> <li>・技術やその伝承に賭ける陶芸家の想いに注目させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統を守り続けていくことの大切さや苦勞、それを支える職人の気持ちを理解できたか。</li> </ul>
<p>5 自分が見つけた工芸品のよさや美しさについてノートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色など見た感じだけでなく、素材の生かし方や伝統工芸の意味、それを守り続けていく職人の気持ちなどについて考えたことも、併せてまとめるよう助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業選択の際、自分の興味・関心に合ったものを選ぶことも大切であることが理解できたか。</li> </ul>

## 5 具体的な取り組みのために

- 伝統工芸をより身近に感じさせるために、香川の漆器、讃釜の焼き締め、徳島の藍染、愛媛の砥部焼、高知の和紙など四国の工芸品を中心に、木、竹、土、金属、布、ガラスなどの素材のものを用意した。(標準美術「四国の伝統工芸」P37)
- 発展的な学習として、この後、木、竹、土などの素材を使った作品の制作を行い、制作過程を体感させるのもよい。

## 6 授業風景



素材別並べて素材の特徴を学ぶ



手に持って素材の特徴を確かめる



県別に並べて、身近な工芸を探す

### <生徒の感想>

- ◆ きれいだった。例えば、木だったら、木そのものの色が活かされていて本当に上等のように感じた。伝統工芸は特別なもので普段人々は使っていないと思っていたけど、違って、よく使われていたのでびっくりした。
- ◆ 香川のお盆や茶托は、たくさんの職人の人が手間ひまかけて作っているのを感じた。こんなに身近なものでたくさんの工芸品が見つかった。
- ◆ 一つ一つが手作りだということがすごいと思った。漆をぬっていたのはピカピカしていてきれいだった。伝統工芸は古くから職人が作り続け、人々がずっと使い続けてきたものだということがわかったし、すごいと思った。
- ◆ 工芸品は日常でもよく使われることが分かった。家の中でたくさん探してみたい。

工芸ってなんだろう？ <四国の伝統工芸を探そう>

県名	種類	材料	特徴	つくり方
香川				
徳島				
高知				
愛媛				

今日の学習のまとめ

工芸の素材をまとめよう

素材	項目	長所	短所	おもな加工法や特徴
木				
土				
金属				
竹				
ガラス				

## 事例2 製作工程表を作ろう (1年技術・家庭科)

製作する製品の寸法・個数などを整理して部品表としてまとめるとともに、作業順序があることを知り、各作業工程の目的や内容、必要な工具などを整理した製作工程表を作成し、それによって計画的に行うと、能率的に作業を進められることを感得させる授業である。

### 1 題材名 製作の準備

### 2 題材について

昔から人類はものを作り、生活を豊かで便利なものに発展させてきた。特に、近年の生産技術の発達はめざましく、携帯電話やコンピュータ等に代表される情報機器は、情報通信システムの飛躍的な発展とともに次から次へと新製品が開発され、急速に普及している。このように、現代は新しい技術によって生産性が大幅に向上し、大量生産・大量消費という社会構造へと変化してきた。このような背景の下、もの作りを体験する機会の減少などにより生徒の製作技術も著しく低下した。

そこで、本題材において、製作する製品の寸法・個数などを整理して部品表としてまとめるとともに、製作にあたっては作業順序があることを知り、各作業工程の目的や内容、必要な工具などを整理した製作工程表を作成し、それによって計画的に行うと、能率的に作業を進められることを感得することは重要である。計画を立てる意義や方法を知り、それを実行しようとする態度を身につけることは、将来の進路計画を立てる際にも役立つと考える。

### 3 育成したい能力・態度

#### 計画実行能力

- 製作に必要な部品を考え、むだなく材料取りを行うために、部品表を作成することができる。
- 作業を効率よく行うために、作業の流れをまとめ、製作工程表を作成することができる。

#### 情報収集・探索能力

- 教科書やWebページを活用し、必要な情報を収集することができる。

### 4 学習指導過程

学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
1 本時の目標を知る。	・自分が設計した製作図をもとに部品表をつくり、製作工程を考えて製作工程表をつくることを知らせる。	
2 部品表を完成させる。 ・材料の材質 ・仕上がり寸法 ・数量	・製作図から必要な部品を考えさせるために、製品例(部品表)を参考にさせる。 ・わからない生徒には、机間指導を通してアドバイスする。	・製作図をもとに、部品表が作成できたか。

3 部品表の点検をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した部品表と製作図を照らし合わせ、部品のもれや寸法のまちがいがいないかを確認させる。</li> </ul>	
4 製作手順を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な製作工程が次のようになっていることを知り、作業内容を確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①けがき</li> <li>②切断</li> <li>③部品加工</li> <li>④組み立て</li> <li>⑤仕上げ</li> </ul> </li> <li>製作工程や作業内容が理解しやすいように、「技術室内の工具一覧」「工具を用いてできる作業一覧」を準備する。</li> <li>作業内容や工具の使い方を理解しやすいように、教科書やWebページを利用させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書やWebページを活用し必要な情報を収集することができたか。</li> </ul>
5 製作工程表を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容のわからない生徒や工具について迷っている生徒には、机間指導を通してアドバイスする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業の流れをまとめ、製作工程表が作成できたか。</li> </ul>
6 まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習記録カードに記入させる。</li> </ul>	

## 5 学習のポイント

製作工程を教科書等で調べさせ、製作工程表を作成させることで、今後の学習の見通しをもたせることができるようにする。その際、工具の使い方などのわからないことは簡単にふれる程度にし、全体の流れをつかむことを主眼とする。

※Webページ 「技術とものづくり動画素材集」 <http://www.crdc.gifu-u.ac.jp/~ogawa/douga.htm>  
「教育用画像素材集」 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/index.html>

# 製作の準備・・・部品表を作成しよう！

氏名 ( )

◆ 製作に必要な部品をすべてかきだそう。

照合番号	部品名	材質	仕上がり寸法 (厚さ×幅×長さ)	数量
①	側板	アガチス	12X 210 X 300	3
②	底板	アガチス	12X 210 X <del>300</del> 250	1
③	背板	アガチス	12 X 80 X 350	1



◆ 製作工程表を作成しよう。

工程	おもな作業	使用する工具・機械	作業のポイント
けがき	① けがきの基準面を決める。 ② 基準面を基準にして材料に切断線や仕上がり寸法線をけがく ③ 寸法どおりに正しくけがかれていたか木検査する。	さしがね、えんひつ、金剛尺、けがき金など	側板や底板のけがきでは、木目の向きをそろえることが大切だ。
七刀切断	① 切断線が仕上がり寸法線にしたがって、七刀切断する。 ② 木材料が正しく取れたか検査する。	両刃のこぎり、弓のこなど	けがき線を確認するには、反対側からあててみるのがいい。
部品加工	① 部品加工の基準面を確認する。基準面ができていない場合は、基準面をつくる。 ② 木材料に仕上がり寸法線の穴の位置をけがく ③ 部品を仕上がり寸法に加工する ④ 穴あけをする。 ⑤ 部品の検査をする。	さしがね、直角定規、かまひげ、のう、けさ、リ台	基準面にはえんひつなどで自分にかかる印をつけておこう。穴あけをする前にもう一度穴の位置を正確かめよう。
組み立て	① 仮組み立てをする。 ② 接合部のけがきをする。 ③ くきの穴をあける。 ④ 組み立てをする。	さしがね、直角定規、四つ目こぎり、けさ、のう	仮組み立ては、加工のミスを見つけたら、組み立ての順番を確認したりするのにいい。
仕上げ	① 表面を研磨紙や砂紙でみがく ② 目止めをする。 ③ 塗装をする。	石研磨紙、塗料、はけなど	けがき線はきれいに消しておこう。



# 学習記録カード・製作ワークショップシート

( )年( )組( )番 氏名( )

作業名	作業工具名	チェック項目	自己評価	終了確認印
けがき	さしがね	工具が正しく使えたか 切りしろ・げずりしろがかけたか(5mm) 直角に線がひけたか 寸法の間違いはないか	5 ④ 3 2 1 ⑤ 4 3 2 1 5 ④ 3 2 1 5 ④ 3 2 1	検 6.16 宇野
感想	さしがねの使い方が難しかった。			
切断	両刀 のぎり	工具が正しく使えたか けがき線の中心を切れたか 切り口が直角に切れたか 安全に作業ができたか	⑤ 4 3 2 1 5 4 ③ 2 1 5 ④ 3 2 1 5 ④ 3 2 1	検 6.22 宇野
感想	スムーズに切れたなかった。 小さいのが残念だった。			
部品加工	ベルト サンダ	工具・機械は正しく使えたか 直角・まっすぐに削れたか 仕上がり寸法に仕上がったか 安全に作業ができたか	⑤ 4 3 2 1 5 4 3 ② 1 5 4 ③ 2 1 ⑤ 4 3 2 1	検 7.08 宇野
感想	まっすぐに切れたなかった。1枚削り終わると結構な音がして、思ったより難しく使った。			
組み立て	けんのう くぎ くぎ減 など	工具は正しく使えたか くぎの曲がりはないか 板割れはないか ずれやすきまはないか 安全に作業ができたか	⑤ 4 3 2 1 5 ④ 3 2 1 5 4 3 ② 1 5 4 3 ② 1 ⑤ 4 3 2 1	検 9.21 宇野
感想	くぎが曲がらずに打てたよ。			
仕上げ		きれいにみがけたか きずやよこれはないか	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	
感想				

- 5:よくできた。
- 4:まあまあできた。
- 3:ふつう
- 2:少し失敗した。少しできなかった。
- 1:失敗した。できなかった。

必ず記入して、一緒に点検を受けること!

# 学習記録カード

( )年( )組( )番 氏名( )

月日	今日の学習を振り返って	木材や工具に対するあなたの悪い感じのこと 友だちとの協力・助け合いの様子を待つ友だち	確認印
6/8	さしがねで直角に線を引きかけた。まっすぐに引けた。ななめは引けなかった。		検 6.08 宇野
6/9	まっすぐに引けた。さしがねの使い方が早く切れた。		検 6.09 宇野
6/13	先生の絵が助かった。助けてあげてくれた。		検 6.13 宇野
6/15	手法が間違っていた。上手に直るといいな。手伝わなかった。		検 6.15 宇野
6/22	ベルトサンダーで削るのが平行に削れたのが難しかった。		検 6.22 宇野
7/6	今日まきぎのけがきを手伝ってあげた。最後まででき良かった。		検 7.06 宇野
7/13	くぎを打つところの線を引いた。寸法を言うのが難しくかった。		検 7.13 宇野
9/7	くぎを打って組み立てをした。打つのが楽になった。		検 9.07 宇野
9/14	くぎを打つのが楽になった。曲がらずに打てた。		検 9.14 宇野
9/21	みがくのが楽になった。少しツルツルになった。板割れが少なかった。		検 9.21 宇野
9/28	やってみると、みが作業に楽になった。でも、直張った。直張りの作業をまっすぐにあげたよ。		検 9.28 宇野
/			
/			



### 事例3 委員や係を決めよう (1年：学級活動)

学級の組織づくりを通して、学級という小さな社会の中での役割や役割を果たすことの大切さを理解させるとともに、今後、自分のよさを見つけたり、働くことの大切さや成就感を体得したりすることにもつなげていくことができる授業である。

#### 1 題材名 学級組織をつくろう

#### 2 題材について

中学1年生は、「友達をいっぱいつくって楽しい学校生活を送りたい」「小学校ではあまり勉強をしなかったが、新しい教科もあるので新しい気持ちで勉強したい」「部活動や生徒会活動にもがんばりたい」など、中学校生活に多くの希望や期待を抱いて入学してくる。このような希望や期待に応えるためには、生活の基盤となる学級づくりが大切になる。生徒がお互いを尊重し、協力し合って学校生活を送るためには、安心して自分の意見が言え、正しいことがまかり通る学級でなければならない。

そこで、学級の中で自分の果たすべき役割を理解させ、民主的で自治的な集団をつくろうとする意欲を持たせるためには、学級として最初の活動である「学級の組織づくり」はたいへん重要である。

#### 3 育成したい能力・態度

##### 役割把握・認識能力

◎ 学級の中での自分の果たすべき役割を自覚し、責任を持って活動することの大切さがわかる。

##### 選択能力

- 自分の個性や興味・関心に基づいて、活動したい委員や係を選択することができる。
- 選択するときの判断や決定の過程を大切にし、決まった委員や係には責任が伴うことを理解することができる。

#### 4 学習指導過程

学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
1 委員や係を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に知らせていた委員や係の種類，人数，活動内容等について再度確認する。</li> <li>・学級全員が一人一役を担い，その役割を果たすことでよい学級が生まれることを説明し，学級の一員としての自覚を持たせる。</li> </ul>	
2 選出方法について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の希望や意欲が生きるように立候補を優先する。</li> <li>・立候補者が出ない場合や複数の立候補者が出た場合の対応を話し合わせ，全員が納得して決定できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が納得できる民主的な方法を考えることができたか。</li> </ul>

<p>3 委員を決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に委員や係の一覧表を板書しておき，立候補したい者にネームカードを黒板に貼って意思表示させる。</li> <li>・立候補した生徒に，意欲ある態度であることを評価する。</li> <li>・人数に過不足が出た場合は，みんなが決めた方法で順次決定していく。</li> <li>・すべての委員が決定したところで，承認の拍手を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動したい委員や係に立候補することができたか。</li> </ul>
<p>4 係を決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員と同じ方法で選出し，決定する。</li> </ul>	
<p>5 活動計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級内で実践できる具体的な活動を話し合っ て計画を立てさせるとともに，役割を明確にさせる。</li> <li>・月ごとに自己評価・他者評価を行うことを知らせ，活動意欲を喚起させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割を自覚し責任をもって活動しようとする意欲を持つことができたか。</li> </ul>
<p>6 教師の言葉を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分に与えられた仕事をきちんとすることが，学級を支えることになる。クラス全員が，学級を支えている大切な人なのであり，一人でも欠けてはいけない。自分の力を十分発揮するとともに，みんな で助け合っ ていける学級をつくって いこう」という趣旨の呼びかけをする。</li> </ul>	

## 5 学習のポイント

### ① 本時まで

- ・学級開きで教師と生徒の自己紹介を行い，あたたかい交流の場を設定する。
- ・小学校と中学校の学校生活の違いを知らせ，生徒の自治的な活動の大切さを理解させる。
- ・前もって委員や係の種類や人数，活動内容や期間などを掲示し，考えさせておく。

### ② 本時では

- ・委員や係の活動内容を充実させ，責任を持って働くことが学級の役に立つことや，他の委員や係に協力することの大切さに気づかせる。
- ・学級は“小さな社会”であり，そこで学んだこと（勤労観，責任感）が将来大きな社会に出たときに役立つことを知らせる。

### ③ 本時以降は

- ・一人一人の活動状況を見守りながら，日常の声かけやアドバイスなどによって，頑張っている点などを積極的に評価する。
- ・努力が求められる点については，他の委員や係の様子などを紹介してやる気を喚起する。

## 事例4 動物のからだのはたらき (2年:理科)

観察をするにあたり、自己評価を通して自分の成長や課題を認識させ、その結果をもとにした観察計画を立てさせることで、目的意識を持った観察ができるようにする授業である。

### 1 題材名 ブタの内臓の観察

### 2 題材について

2年生の理科の学習では、直接目では見られない題材が増え、さまざまな現象に対する考え方や毎時間の学習内容の定着が特に重要になる。

本題材は、動物のからだについて、消化系や呼吸系、排出系など各器官のつくりや役割について学習し、ヒト以外の動物と比較することで、自然界に生活する動物にも視点を当てる内容となっており、動物のなかまの単元につながる内容である。また、からだの各器官が単独で活動しているのではなく、それぞれが関連しながら役割を果たしていることを考えさせる内容であり、身近な例や現象、具体例なども示されているために比較的考えやすい内容となっている。

授業で実験・観察を行う際には、内容を把握した上で明確な目的を持って活動を行う必要がある。また、自分の予想を発表したり、実験結果を考察したりする場面を繰り返し設定することで、コミュニケーション能力を育成することも期待できる。

さらに、学習を振り返る時間を毎時間設定し、学習内容の目標と対応した自己評価を実施することで、自己を客観的に見る能力を育てるとともに、その結果を見直すことで、自分の課題を見つけたり、自分の成長を再確認したりすることができる。

このように、自ら課題を見出し主体的に取り組むことは、よりよい生き方をめざして自分の力で課題を解決していこうとする意欲や態度につながっていくと考える。

### 3 育成したい能力・態度

#### 自他の理解能力

- 毎時間実施している自己評価を通して、自分の成長や課題を認識することができる。
- ヒトのからだの各器官のすばらしさを、自分のこととして考えることができる。

#### 課題解決能力

- 各器官を観察するにあたり、事前に計画を立てて観察を行うことで、目的意識を持って観察を行うことができる。

#### 4 学習指導過程

学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
<p>1 前時までの学習内容を振り返る。</p> <p>2 からだの各器官とそのはたらきについて自己評価する。</p> <p>3 ブタの内臓を観察する。</p> <p>4 内臓を部分ごとに観察する。</p> <p>5 自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学習した動物のからだと各器官のはたらきについて説明し、本時は実物の観察であることを確認させる。</li> <li>・これまで毎授業で行ってきた自己評価と同じ観点で再度自己評価させ、以前の評価との比較を行う。</li> <li>・自己評価の結果をもとに、課題（さらに詳しく学習するとよい内容）について考えさせる。</li> <li>・理解を深めるために、器官ごとに学習内容を復習しながら観察させる。</li> <li>・机のまわりに集めて、実際に触れさせながら教師の説明を聞かせる。</li> <li>・観察後に、新しく理解したことやもっと知りたいことをまとめさせる。</li> <li>・単なる観察だけではなく、各器官のはたらきを通して、生命のすばらしさについて考えを深めさせる。</li> <li>・それぞれの器官ごとに切り分けておき、各自の課題に応じて特に観察したい場所を重点的に観察させる。</li> <li>・各器官の実物を見て、理解を深めることができたかを確認する。</li> <li>・授業の内容に対して、自己評価を行わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長や課題について考えられたか。</li> <li>・自分の課題を見つけ、観察の計画を立られたか。</li> <li>・観察の中で新たにわかったことをまとめられたか。</li> <li>・本時の自己評価を行えたか。</li> </ul>

## 5 学習のポイント

- 本授業は、香川型教材に含まれている内容であり、観察の技能を高めるとともに、実物の観察の大切さを学習する内容となっている。
- 観察だけで終わるのではなく、からだの各器官のすばらしさを確認させ、それを踏まえて自分の考えをまとめるさせる。
- 自己評価を通して客観的に自分を振り返るとともに、その結果をもとに新たな課題を自分で見つけることができるようにする。
- 特に観察をしたい場所を各自に選択させるとともに、「教科書以外の発見を2つ以上する」という課題を与えることで、観察への目的意識が芽生え、協力することができるようになる。

## 6 授業風景



授業の開始時



過去の自分との比較



内臓の観察



課題を見つけての観察

### <生徒の感想>

- ◆ 小腸の周りには、よく見ると血管がたくさんある。
- ◆ 肝臓はいくつかに分かれている。
- ◆ 肺はスポンジのようであった。
- ◆ 胆汁の色は濃い黄色だった。

月日	授業の内容	評価の観点			挙手回数
		評価1	評価2	評価3	
5/19	消化液	●◎◎	胆汁	●◎◎	修正
5/19	柔毛	●◎◎	働き	●◎◎	
5/20	プリント	●◎◎		◎◎◎	修正
5/26	肺のつくり	●◎◎	知識	●◎◎	修正
6/3	血管	◎◎◎	血液	◎◎◎	一
6/6	心臓	◎◎◎	循環	◎◎◎	
6/9	血液	◎◎◎	知識Ⅰ	◎◎◎	
6/10	肝臓・じん臓	◎◎◎	知識Ⅱ	◎◎◎	修正
6/13	動物の種類	◎◎◎	知識Ⅱ	◎◎◎	
6/15	観察	◎◎◎	発見	◎◎◎	
6/17	分類	◎◎◎	体温	◎◎◎	修正
6/20	プリント	◎◎◎		◎◎◎	修正

単元全体の自己評価 感想 ● ◎ ◎  
 やっぱり進化は論であって進化ではないと思えました。  
 動物などはとても種類を多くしているのが分かりました。  
 ふだんは胃の中のものまでしか見えないけど小腸までいく  
 ともうドロドロなのが分かりました。

① 消化管の各器官の名称  
 右の①～⑥の名称は？

◎ ◎ ◎

② 動物の歯について  
 それぞれの動物の発達している歯  
 2種類と役割について

◎ ◎ ◎

⑦ 肺のつくり  
 吸うとき吐くときの横隔膜とろっ骨はどうなるか。  
 酸素を運ぶのは血液の中の何か。ヘモグロビンの性質

呼吸

◎ ◎ ◎

血液中、ヘモグロビン

⑧ 血管と血液  
 毛細血管、動脈、静脈とはどのような血管か。  
 動脈血、静脈血とはどのような血液か。

◎ ◎ ◎

血液

⑨ 心臓  
 心臓の4つの各部屋と、つながっている血管。  
 肺から体中を循環した血液を肺まで説明できる。

◎ ◎ ◎

循環

④ だ液の実験  
 唾液を加えたとき色はそれぞれどうなるか。  
 また、その結果から分かることは

◎ ◎ ◎

AとC

BとD

⑩ 血液  
 赤血球・白血球の役割  
 組織液とは何か、また、役割

◎ ◎ ◎

血球

組織液

⑤ 消化液について  
 消化液を4種類とそれぞれが分解する物質は？  
 胆汁の役割と消化液とのちがいは？

◎ ◎ ◎

消化液

胆汁

⑥ 柔毛について  
 各毛分がからだに吸収される形と場所  
 柔毛のはたらきについて

◎ ◎ ◎

養分

はたらき

自己評価を振り返って考えること

-----

-----

-----

## 事例5 かけがえのない命 (2年: 道徳)

命の尊さについて、様々な立場から考える際に、KJ法を活用することでコミュニケーション能力の育成を図るとともに、命を大切に生きようとする人の姿から、これまでの自分を見つめ、これからの生き方を考えさせる授業である。

1 主題名 かけがえのない命 (生命の尊さ・自他の生命の尊重 3-(2))

### 2 主題について

生命は、自分一人だけのものではなく、遠い昔から受け継がれてきた生命の連鎖の中で自分が現在受けとった非常に尊いものである。しかし、「むしゃくしゃしたから」「だれでもよかった」などの理由で家族や他人の生命を軽々しく奪ったり、「自殺サイト」を通して自らの生命を絶とうとしたりする事件が日々報道されている。その原因として、人間関係の希薄化にともなうコミュニケーション能力や自己を抑制する力の低下などが考えられる。

そこで、より身近な問題としてとらえさせるため、同じ世代の中学生が自らの命を絶ったことや傷害事件をおこした少年の心情を考えさせる。その際、命の尊さについて様々な立場から捉えさせるためにKJ法を用い、他人の意見も尊重しながら自分の意見を伝えることができるようにする。

さらに、VTR「かけがえのない“いのち”を生きる～認め合うこと、支え合うこと～」を視聴し、余命半年のガンと宣告された徳永さんが一日一日を大切に生きていく姿や、家族や小学生との交流の中で考えていることなどを通して、命を大切に生きていくということについて考えさせる。ここでも、KJ法を活用し、コミュニケーション能力の育成を図る。

### 3 育成したい能力・態度

#### コミュニケーション能力

- 2つの話し合いの場面を設定し、KJ法を用いることで、他人の意見も尊重しながら自分の意見を伝えることができるようにする。
- ゲストティーチャーの話から人間関係の大切さを理解することができる。

#### 課題解決能力

- 残された命が少ないのに毎日笑って過ごしている「徳永さん」の生き方から、これまでの自分を振り返り、自らの課題を見だし将来の生き方を考えることができる。

### 4 学習指導過程

- |    |   |
|----|---|
| 前時 | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 最近の同年代の生徒が起こした傷害事件の記事をもとに、その生徒を取り巻く状況などについて具体的に考え行くうえで、事件に至った経緯や心情について話し合う。</li><li>○ 自ら命を絶った生徒の事例をもとに、周囲の状況や本人の心情について話し合う中で、命の尊さについて様々な立場からとらえる。</li></ul> |
|----|---|

	学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
本 時	<p>1 VTR「かけがえのない“いのち”を生きる」の続きを見て徳永さんの気持ちや周りの人の気持ちについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、死に直面している徳永さんが笑顔をたたえていられるのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶望に直面した徳永さんはどのように考えたのだろうか。</li> <li>・徳永さんを支えているものは何だろうか。</li> <li>・徳永さんはどのような気持ちで毎日を過ごしているのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に見た内容を思い出させ、本時の中心となる徳永さんの考え方と周囲の人々の考え方に注目させる。</li> <li>・徳永さんの気持ちの変容に重点を置いて考えさせる。</li> <li>・KJ法を用いて、話し合いが深まるようにする。</li> <li>・意見は遠くからでも見えるようにサインペンで書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を書き、班員に説明することができるか。</li> </ul>
	<p>2 徳永さんの命に対する考え方について、考えが変わった過程をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班で意見を集約する際、話し合いで出された少数の意見にも注目させる。</li> <li>・残された命を大切に生きる徳永さんを取り巻く人や環境について、今の自分と比べながら考えさせえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動に積極的に参加しているか。</li> </ul>
	<p>3 ゲストティーチャー（特別養護老人ホームの人）の話を聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話を聞く前段階として、人の死について考えを深めることで、人間関係の大切さを理解させる。</li> <li>・体験談（死と直面して、どのように思ったり、どのように考えたりしているか）を語ってもらう。</li> <li>・生徒から出た意見（周囲の人々の気持ちや配慮）についても触れてもらう。</li> </ul>	
	<p>4 「心のノート」P76を読む。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の有限性について考えることができたか。</li> </ul>



## 5 学習のポイント

- 準備物 VTR「かけがえのない“いのち”を生きる～認め合うこと、支え合うこと～」  
(法務省保護局 -2001年3月-)  
心のノート、ワークシート、画用紙、サインペン、付箋
- KJ法を用いることで、生徒がいろいろな立場から考えを公表し、それぞれの考えを関連づけていく中で考えを深めていくことができる。そのため、話し合い活動の基本となる自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の考えを理解するといったコミュニケーション能力の育成を普段から心がけておく必要がある。特に、本時では、キャリア教育の視点から、自他の理解能力やコミュニケーション能力の育成に重点を置く。
- 授業実践にあたり、ゲストティーチャーと打ち合わせを十分にしておき、生徒に対してどのようなことを語ってもらいたいのかをはっきりさせておく。
- 心のノートの「生命を考える」(P74～P77)を活用し、生命の有限性や連続性などに気づかせる。

## 6 授業風景



KJ法を用いて、自分たちの班の考えを全体に述べている様子

### KJ法

川喜田二郎によって考案され、その頭文字により命名された、思考過程にとって有用な資料整理の方法。資料を要素単位ごとにカード化することから始まり、それらを分類・類型化し、また類型相互を関連づけ、より高次の思考、新しい発見へと導くことから成る。問題解決のための集団討議法として活用されているものの一つである。

※ 学校教育辞典（教育出版）より引用



## 事例6 選択について考えよう (2年：総合的な学習の時間)

選択はいろいろな場面で行われるが、生徒が自分の特徴を知り、それを伸ばす一つの手段として有効に活用させるとともに、選択に伴う自己責任についてもしっかり考えさせる授業である。

### 1 題材 選択のしかたを考えよう

### 2 題材について

フロンティアタイム（通称Fタイム）は、本校が毎週1時間実施している総合的な学習の時間の一つである。生徒は9つのコースの中から一つを選び、自分の弱点克服を目指して自主学習を行うものである。

生徒はその日の朝の会で、自分が学習したいコースを選ぶ。しかし、選択教科などの選択と異なり、友達に誘われて選ぶ、その日に授業がある教科から選ぶなど、場当たりに選ぶ傾向がある。

そこで、改めて「選択」の意義や目的を考えさせるとともに、選択した結果には責任が伴うことも理解させ、今までの選択方法を見直しさせ、次回からの選択に生かせるようにさせる。

### 3 育成したい能力・態度

#### 選択能力

- 選択の目的や意義を考え、その結果には責任が伴うことを理解し、フロンティアタイムの選択方法を見直すことができる。

#### 課題解決能力

- よりよい学習方法を目指して、自ら課題を見出していくことの大切さを理解し、次回からのフロンティアタイムの選択に生かすことができる。

### 4 学習指導過程

学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
1 前回のFタイムを選んだ理由を思い出す。	・前回の選択理由を思い出させることで、自分の意思の所在を確認させる。	
2 選択についてのアンケート結果を見て、Fタイムの選択と、選択教科やゼミナールの選択の違いを考える。	・資料から、Fタイムが他の選択と違って、自分の意志で選ぶより、友達と相談して選ぶことが多いことに気づかせる。 ・男女の選択理由の違いに注目させる。	
3 女子は友達と相談して、男子はその日の教科から選ぶことの多い理由を考える。	・表面的な理由ではなく、選択教科やゼミナールを選んだ時の気持ちとの違いに気づかせる。 ・1年間継続する教科の選択に比べ、1週間ごとに選択するFタイムの選択を軽い気持ちで選んでいることに気づかせる。	・選択とその決定には責任が伴うことを理解できたか。

<p>4 選択の意義や大切さについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の興味・関心や適性に合った学習方法の重要性や必要性について理解させる。</li> <li>・選択の機会が多いからといって安易に選ぶのではなく、計画的に選ぶことで実のある学習が期待できることを理解させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の適性や必要に合った学習や学習方法が大切である。</li> <li>・1週間に一度の取り組みも、1年間継続すると大きな力になる。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択の意義や大切さを理解できたか。</li> </ul>
<p>5 Fタイムの目的や意義、利点についてもう一度知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1時間の学習であるが、年間の合計時間は30時間あり、選択教科とほぼ同じ時間の学習であること、さらに、必要に応じてその都度教科を変えることができるという利点を有効に活用することで、効果的な学習の仕方を身に付けることができることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回のFタイムでは、自分に必要な教科を選択しようという気持ちを持つことができたか。</li> </ul>
<p>6 自分にとって有意義なFタイムにするためにどのように改善するか考え、ワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Fタイムの前日には、教科を決めて生活記録の準備物に記入しておくなど、具体的な方法まで考えさせる。</li> <li>・2～3人の生徒に発表させる。</li> </ul>	

## 5 学習のポイント

- 学校生活の中で選択の場面は多いが、何度か選択を経験した後で、それまでの選択方法を振り返らせて、改めてその意義を考えさせたい。そのために、実践時期は2年生にこだわることなく、それぞれの学期や学年の終わりでもよい。
- 選択能力には、選択決定に伴う自己責任についてもしっかり理解させたい。係活動や委員会活動などの選択に関して考えさせると実感として理解させやすい。
- 選択に関する簡単なアンケートを実施して、その結果のデータをもとに考えさせるとよい。
- 中学校3年において当面の進路を選択・決定する際に、ここで学習した選択能力が生かされるように、見通しを持った指導をしておく。

# 選択アンケート

Fタイムの選択を考えよう  
2年2組 番・氏名

大川一中では、Fタイムをはじめ、ゼミナールや選択教科など、皆さんの興味・関心に合わせた授業を多く実施しています。  
さて、あなたは、それぞれの教科等を選択する時に、どのような気持ちで選択していますか？一番当てはまるものに○をつけてください。

## ■選択教科について

- (1) 選択教科を選ぶのに……
- ① 自分の興味・関心を考えて、自分だけの力で選んだ。( )
  - ② 自分の興味・関心を考えて、親に相談して選んだ。( )
  - ③ 自分の興味・関心も考えたが、友達にも相談して友達と同じ教科を選んだ。( )
  - ④ その他( )

## ■ゼミナールについて

- (1) ゼミナールを選ぶのに……
- ① 自分の興味・関心を考えて、自分だけの力で選んだ。( )
  - ② 自分の興味・関心を考えて、親に相談して選んだ。( )
  - ③ 自分の興味・関心も考えたが、友達にも相談して友達と同じコースを選んだ。( )
  - ④ その他( )

- (2) 昨年度実施したゼミナールについて……

- ① 選択してよかった。( )
- ② 選択を間違えたと感じている。( )

①、②どちらを選んだ人もそれぞれ、その理由を書いてください。

## ■Fタイムについて

- (1) Fタイムを選ぶのに……
- ① 自分の学習計画に合わせて、いつも自分で考えて選んでいる。( )
  - ② だいたい、友達と相談して、選んでいる。( )
  - ③ その日に準備できる教科の中で選んでいる。( )
  - ④ その他( )
- (2) あなたは、友達と一緒になくても、自分に必要な教科を選ぶことができますか？
- ① はい ( )
  - ② いいえ ( )
  - ③ どちらともいえない ( )

1 前回のFタイムの教科は	
2 選んだ理由は	
3 Fタイムに対する今までの自分の気持ちは	
4 選択の意義と目的	
5 まとめ（今後のFタイムの取り組み方）	

#### 4 選択の意義と目的

自分の意しが今よりも、もっと強くなると思う!!!  
自分の考えやできないこともできてくると思う。

#### 5 まとめ(今後のFタイムの取り組み方)

今までは、友達と相談してFタイムを取り組んできました!!!  
これからのFタイムは、自分のにがてな教科も、授業であらな  
かったことを思いだし、にがてな教科のところに行き、先生に  
たくさん、質問していきたいと思います!!!  
決めるのはFタイムがある前の日に決め、準備物をもってきたら  
です。

週に1時間...だと、つい軽く考えちゃうが、とくと1年間、真剣に取り組めると  
適当に取り組めるとではすごい大きな差が... 家でもできることとすることが多かった(英語の授業...)  
ように思うので、できればわからないことを質問するとか、検定を受けるとか、そういうふうに変えてみたい  
のかな? と思います。

#### 4 選択の意義と目的

Fタイムは、自分が授業であらなからなかったところを、もう一度みなおしたり、あ  
からなところを先生に質問したりして、苦手をなくしていったりできる。

- 自分の長所を伸ばす。
- 自分の意見が言える。
- 自分の短所をこくふくする。
- 自主的に...
- 自分の意志を持つ。
- 自分で考えて動く(人に流されな)など)

#### 5 まとめ(今後のFタイムの取り組み方)

今日の学活の時間で、改めて、ゼミナルやFタイムの大切さがわかりました。  
特に、Fタイムは、友だちと相談して決めることが多くて、自分のためになっ  
ていないことが多くありました。これからの取り組み方は、自分の苦手な  
くせるように、しっかりと考えて決めようと思いました。毎週1回あっても、  
1年間では、30時間もあるので、その30時間を自分のためになる  
ようにうまく活用しようと思いました。

せ、かく先生に質問できるチャンスがあるんだから、とくと上手に生かすか生かさないかで  
ずいぶん違うと思うよ。Fタイムの時間でなければできないこと(検定や先生への質問)に  
どんどんチャレンジしようね。

## 事例7 「働く」とはということ？ （3年社会科）

職場体験で学んだ仕事の厳しさや苦勞を振り返るとともに、「職業意識アンケート」をもとにして自分たちと一般の人々との働くことに対する意識の違いを考察する中から、働くことの意義や役割を考えさせる授業である。

### 1 単元名 私たちの生活と職業

### 2 単元について

現代社会では、目的意識を持てぬまま自分を生かそうとする意欲が低下し、フリーターとして過ごす若者や、何となく就職をしたものの長続きせず安易に離職してしまう若者、また、ニートと呼ばれる「働かない若者」が増加し、近年、社会問題として大きく取り上げられている。

そのような中で、職場体験を通して働くことの厳しさや楽しさを実際に味わうことは今後の自分の進路を考えるうえでも貴重な経験である。

本単元では、職場体験での学習を踏まえ、自らの立場を労働者の立場に置かせながら、職業の意義や役割、労働者の生活にとって必要な勤勞の権利と義務などを理解させる。さらに、労働者の雇用と労働条件の改善に果たしている政府の役割をとらえさせることは、極めて意義深いと考える。

### 3 育成したい能力・態度

#### 職業理解能力

- 職場体験で実感した働くことの喜びや厳しさを振り返り、勤勞の意義や働く人々の様々な思いを理解することができる。

#### コミュニケーション能力

- 他者の意見を尊重しながら自分の意見を伝え、お互いに話し合うことができる。

### 4 学習指導過程

前時	○ 職場体験のまとめをする。（2年次に実施している場合はそのときの冊子を準備しておく）		
	○ 「職業意識アンケート」を実施する。		
本時	学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
	1 職場体験を思い出す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験終了時にまとめた冊子などをもとにして、職場体験を通して学んだことや感じたことなどを発表させる。</li> <li>・様々な職種から発表できるよう配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの喜びや厳しさが発表できたか。</li> </ul>
	2 「職業意識アンケート」の結果を考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に「職業意識アンケート」を実施しておき、その結果を発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 一番やってみたい職業</li> <li>② 就職せずにアルバイトをすることの是非</li> <li>③ 男女の仕事分担についての考え方</li> <li>④ 転職の是非</li> <li>⑤ 収入と時間のどちらをとるか</li> <li>⑥ 給料の決め方</li> <li>⑦ 仕事の目的</li> </ul> </div>	

	<p>3 職業の意義と役割を考える。</p> <p>4 憲法にある勤労の権利と義務及び職業選択の自由の保障を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アルバイトへの意識」「収入と時間」「仕事の目的」の結果をもとに、学級と日本や米国などを比較しながら、その共通点や相違点などについて話し合う。</li> <li>・「仕事の目的」について、「自分のいきがいのため」「社会的な義務を果たすため」「収入を得るため」のどれをより重視するかという視点からクラス全体で話し合い、職業の意義と役割について考えさせる。</li> <li>・憲法第 22 条と第 27 条第 1 項をもとに、職業について労働すること（勤労）が国民の権利であり、そのために職業選択の自由が保障されていること、そして、働くことが国民の権利であるとともに義務であることを理解させる。</li> <li>・政府が国民の勤労の権利を保障するために、失業対策や景気対策などを行ったり、公共職業安定所（ハローワーク）を設置したりしていることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通点や相違点を明らかにし、その背景を話し合うことができたか。</li> <li>・働くことの意義を自分なりの理由をつけて述べることができたか。</li> </ul>
<p>次 時 以 降</p>	<p>○ 雇用と労働条件の改善（2時間） 労働者にとって必要な勤労の権利と義務、及び労働者の権利について理解させるとともに労働者の雇用と労働条件の改善を果たしている政府の役割を理解させる。</p>		

## 5 学習のポイント

- 職業は家計を維持・向上させるだけでなく、個人の個性を生かすとともに、社会的分業の一部を担うことによって社会に貢献し、社会生活を支えるという意義があることについて考えさせる。
- 職業の意義と役割について自分なりの考えを持ったうえで、グループごとの話し合いに積極的に参加させる。
- 他の生徒の意見や資料などから、自らの意見を客観的にとらえさせる。



## 職業意識アンケート

1 あなたの一番やってみたい職業は次のうちどれですか。

- |           |            |         |          |
|-----------|------------|---------|----------|
| ア 政治家     | イ スポーツ選手   | ウ 公務員   | エ 自営業    |
| オ お店・商売   | カ 教師       | キ 会社経営  | ク サラリーマン |
| ケ 医師      | コ 農業       | サ 建設業関係 | シ 技術者    |
| ス 福祉関係    | セ コンピュータ関係 | ソ 運転手   | タ 作家     |
| チ マスコミ関係  | ツ 園芸造園     | テ 営業    | ト パイロット  |
| ナ 看護婦     | ニ 事務       | ヌ サービス業 | ネ 保母     |
| ノ 通訳      | ハ ボランティア   | ヒ 洋裁    | フ 芸術家    |
| ヘ 美容師・理容師 |            |         |          |

◆選んだ理由 ( )

2 あなたは就職にこだわらずアルバイトで生活する人が増えることは問題だと思いますか。

- ア 問題だ                      イ 問題はない

◆選んだ理由 ( )

3 「仕事は男性が中心、家事・育児は女性が中心であるべきだ」という考え方があります。あなたはこの考え方に賛成ですか。反対ですか。

- ア 賛成                      イ 反対

◆選んだ理由 ( )

4 仕事や勤め先をかえる転職について聞きます。あなたはよいところがあれば転職したほうがよいと思いますか。それとも、一度就職したらなるべく転職しないほうがよいと思いますか。

- ア 転職した方がよい                      イ 転職しない方がよい

◆選んだ理由 ( )

5 あなたは働く時間が長くなっても収入が増えればよいと思いますか。それとも、収入が増えることよりも、働く時間が短くなればよいと思いますか。

- ア 収入増の方がよい                      イ 時間短縮の方がよい

◆選んだ理由 ( )

6 給料や待遇の決め方は、年齢や勤めた年数を重視するほうがよいと思いますか。それとも、能力や仕事の実績を重視しますか。

- ア 年齢や勤めた年数                      イ 能力や実績

◆選んだ理由 ( )

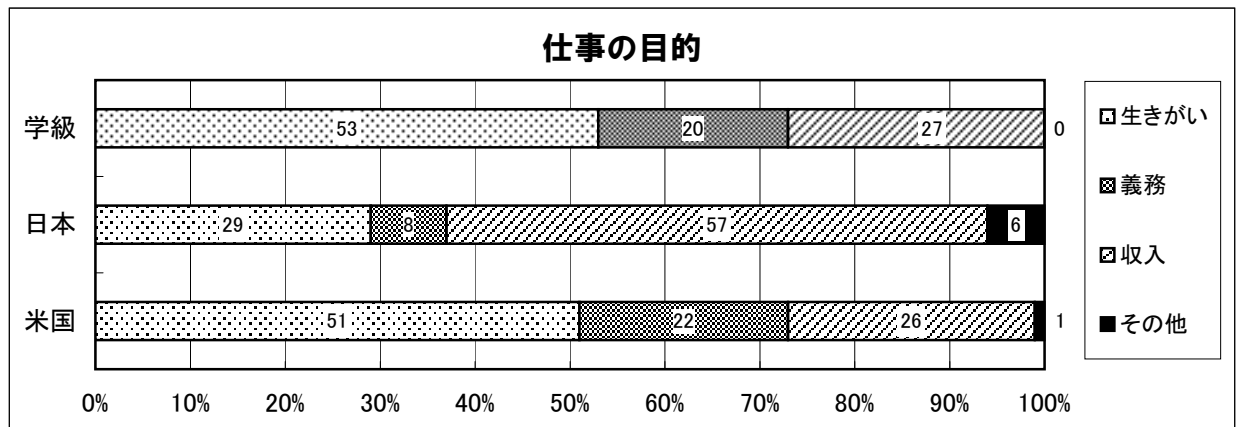
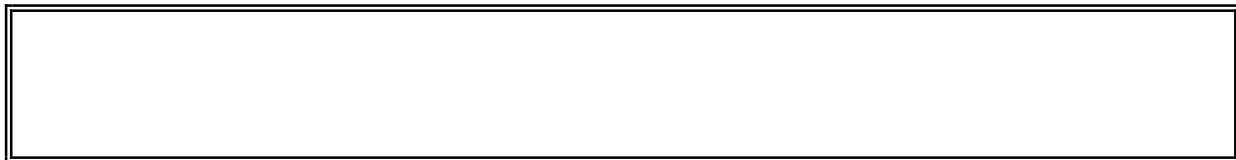
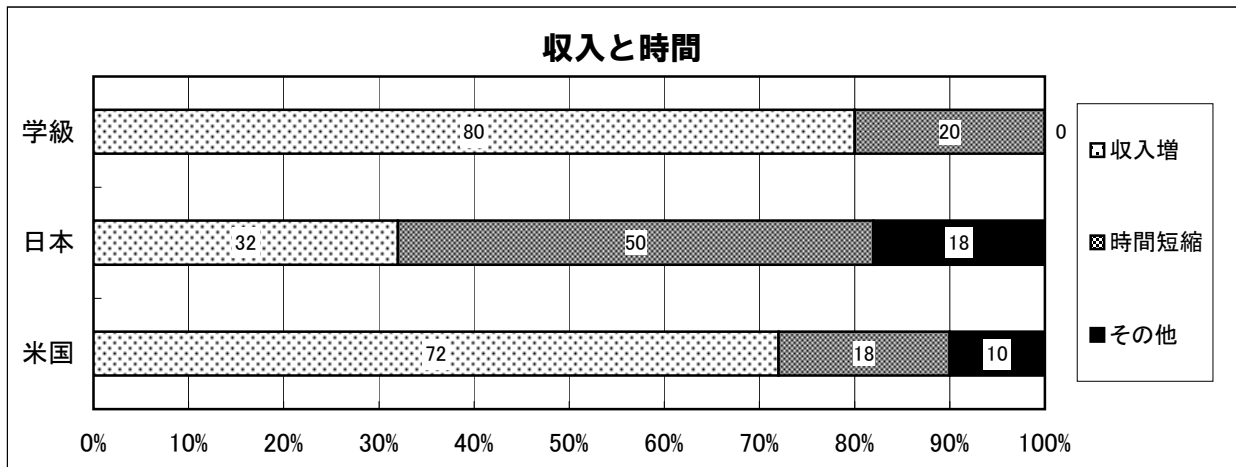
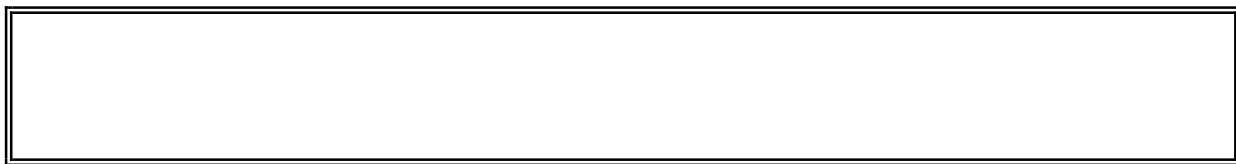
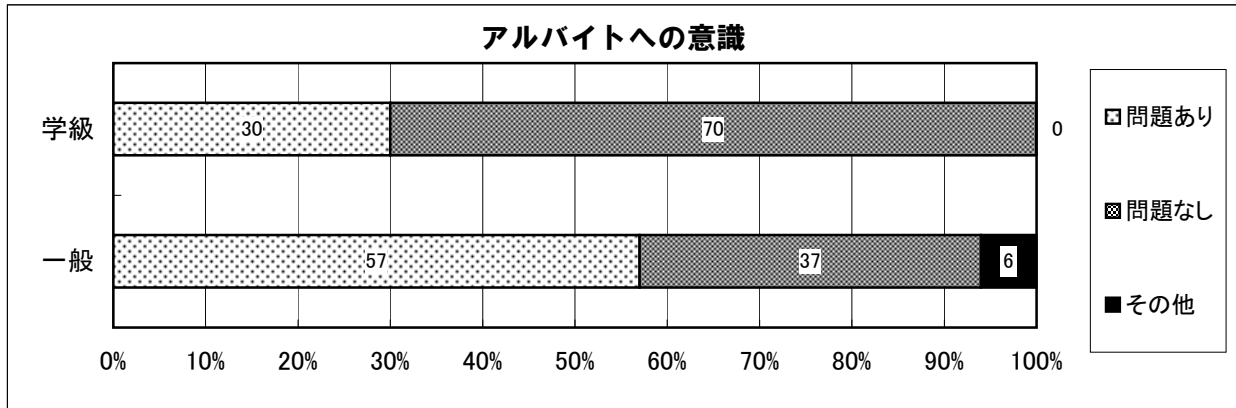
7 あなたは、仕事をどのようなものと思いますか。

- ア 生きがい      イ 義務      ウ 収入を得るため

◆選んだ理由 ( )

(参考:「朝日総研リポート」124号 朝日新聞社)

# 職業意識アンケートの結果



## 事例8 夏を制する者は・・・（3年：学級活動）

中学校生活最後の夏休みを迎えるにあたり、1，2年とは違った目的意識をもってこれまでの夏休みや学校生活を振り返り、学習面・生活面についての目標を立てるとともに、規則正しい生活を送ることの大切さを実感させる授業である。

1 題材名 夏休みの計画を立てよう！

### 2 題材について

中学3年生の夏休みは、多くの生徒が部活動のない初めての夏休みを過ごすことになる。この夏休みには、高校の体験入学や進路学習「先輩に学ぶ」、これまでの学習内容を取り戻すための補習学習などが計画されている。生徒の中には、成績を伸ばそうと努力しようとする者、目標が見いだせないままただらと過ごし何もできなかった夏休みになってしまいそうな者、起床・就寝時間などの生活が乱れ体調を崩してしまう者などが予想される。

中学3年生は、進路を決定するという重要な時期であり、この夏の過ごし方が大きなポイントとなる。そこで、1，2年とは違った目的意識を持ってこれまでの夏休みや学校生活を振り返り、9月以降の学校生活と進路決定に向けての目標や計画を立て、規則正しい生活を送ることは重要であると考えられる。

### 3 育成したい態度・能力

#### 課題解決能力

- 卒業生からの手紙を読んで、進路を実現するためにはこの夏休みや残りの中学校生活の過ごし方が大切であることに気づかせる。
- 1，2年生の夏休みを学習面・生活面について振り返らせ、今回の過ごし方に生かせるようにする。

#### 計画実行能力

- 生活のリズムが大切なことに気づかせ実行させるために、学習面・生活面についての目標を立てさせる。

### 4 学習指導過程

学 習 活 動	指導上の留意点及び支援	評 価
1 手紙を読み、夏休みの過ごし方について考える。	<ul style="list-style-type: none"><li>・卒業生からの手紙については、生徒の実態に応じて選択して使用する。</li><li>・自分自身の立場に置き換えて考えさせる。</li><li>・3年生の夏休みの過ごし方は、進路を考えていく上でとても大切であるということ強調する。</li></ul>	

2 手紙を読んだ感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たった一言で終わってしまわないように、自分の感想を文章で表すようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みや中学校生活の過ごし方が、大切なことに気づいたか。</li> </ul>
3 1, 2年生の夏休みを思い出す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間をとって、生活面・学習面について思い出させ、問題点を記入させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点を記入することができたか。</li> </ul>
4 今年の夏休みの生活を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布し、できるだけ具体的な目標になるよう助言する。 *学習課題・学習時間 *早寝・早起き *健康面など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な目標が書けたか。</li> </ul>
5 目標を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ多くの生徒に発表させる。</li> </ul>	
6 いくつかのパターンで一日の生活のリズムを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てやすいように、夏休みの行事予定表を配布する。</li> <li>・どの場合でも、基本的な習慣（起床・就寝時間、学習時間など）は一定にするよう助言する。</li> <li>・計画がうまく立てられない生徒には助言したり、友だちの計画を紹介して参考にさせたりしながら計画を立てさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のリズムを、いくつかのパターンで考えることができる。</li> </ul>

## 5 事後指導

「夏休みの計画」と題材であるため、普段の学校生活と違って担任が直接目にすることはできない。したがって、生徒自身の主体性に委ねることが大きく、結果が出るのは夏休みが終了してからになってしまう。

そこで、7月に予定されている懇談会において、計画表をもとに生徒へのアドバイスをを行い、計画表を保護者に提示するとともに協力を依頼する。



## 中3, 私の夏休み...充実したものにするために

( ) 番 氏名 ( ) 机の前に貼っておきましょう!

- Mさんからの手紙を読んで、あなたはどう思いましたか。思ったことを書いてみましょう。

Mさんは中学校でやっていたことをこつこつと高校ではそれがあったためがんばっていまも私もこつこつとしないように今やることを精いっぱいやって高校に入りたいという夢を思いきりがんばって楽しんでいます。

- 1・2年生の夏休みの過ごし方をふり返り、反省点を思い出して書いてみましょう。

<p>◆ 1年の時 あまり勉強をしないで、夏休みの最後の最後で宿題を急いでしていた。</p> 	<p>◆ 2年の時 生活が不規則になっていた。</p> 
--	---

- 反省をもとに、生活面・学習面についてのこの夏休みの目標を、それぞれ考えてみよう。

<p>◆ 生活面の目標 部活がないからといってちぎちぎしたりしないでいっその生活リズムを戻さないようにする。</p>	<p>◆ 学習面の目標 宿題を早めに終わらせて自分の音声を教科書のぼす。</p>
--	--



## 中3, 私の夏休み...充実したものにするために

( ) 番 氏名 ( ) 机の前に貼っておきましょう!

- Mさんからの手紙を読んで、あなたはどう思いましたか。思ったことを書いてみましょう。

周りの環境が変わると、人の考え方も変わるんだなあと思いました。どんなに頭が良くて、勉強を続けているのと赤点を取ることもあるということが分かりました。

- 1・2年生の夏休みの過ごし方をふり返り、反省点を思い出して書いてみましょう。

<p>◆ 1年の時 毎日、部活があって、帰ったら夕方までお風呂、遊びに行くかしかしていません。</p> 	<p>◆ 2年の時 毎年あんまり変わらへん生活をしてると思っています。</p> 
---	---

- 反省をもとに、生活面・学習面についてのこの夏休みの目標を、それぞれ考えてみよう。

<p>◆ 生活面の目標 早寝・早起きをしたいなあと思っています。</p>	<p>◆ 学習面の目標 8月の中旬くらいまでには、宿題を終わらしたいなあと。</p>
--	--

## 「キャリア教育実践の手引き」作成委員

清水 顕人 土庄町立土庄小学校 教諭

安倍 幸則 高松市立松島小学校 教諭

網 和弘 東かがわ市立引田小学校 教諭

大岡 秀樹 坂出市立西部小学校 教諭

阿川 祐子 丸亀市立城辰小学校 教諭

近藤 貴代 三豊市立麻小学校 教諭

吉田 道子 さぬき市立大川第一中学校 教諭

松本 彰 三木町立三木中学校 教諭

出石 伸郎 坂出市立東部中学校 教諭

宇野 誓起 観音寺市立観音寺中学校 教諭

なお、教育委員会においては、次の者が本書の編集に当たった。

吉田 光成 香川県教育委員会事務局義務教育課 課長

菅 瑞穂 香川県教育委員会事務局義務教育課 課長補佐

安藤 紳一 香川県教育委員会事務局義務教育課 主任指導主事

